

サクロスーカ



僕の妻を拘のいて
くたさい

寝取らせ夫の
不正んだ愛情
1

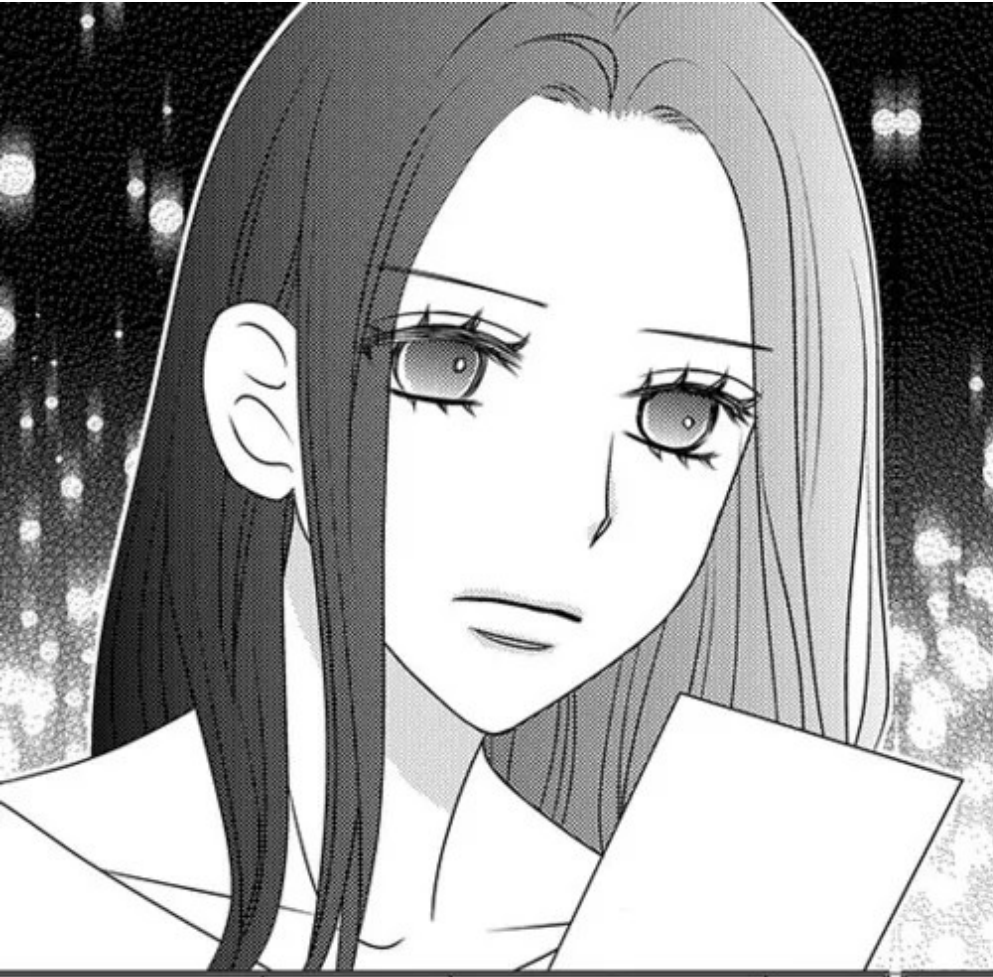
ひなたみわ
Miwa Hinata



B ind Up Version 合本版

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

第 1 話



INVITATION

爽やかな初夏の陽光溢れる季節となりました
 皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます
 このたびは 私たちは結婚式を挙げることに
 つきましては ぜひ皆様に立会人となって
 私たちの門出を見届けていただきたく
 人前結婚式を行いたいと存じます
 なお 挙式の後には ささやかではございます
 披露の小宴を催したいと存じます
 おいそがしいなか誠に恐縮ではございますが
 ぜひご出席くださいますよう ご案内申し上げます

記

日時
 ○年○月×日
 人前結婚式 午後4時より
 披露宴 午後5時より

場所
 レストラン○○○○○○○
 ○○○○○○
 TEL.○○-○○○-○○○○○○○

お手数ではございますが同封の返信葉
 ○月○日までにご返信くださいますようお願い

赤ちゃんもさずかりました!
 現在5ヶ月です
 なつこは真琴ちゃんかな?



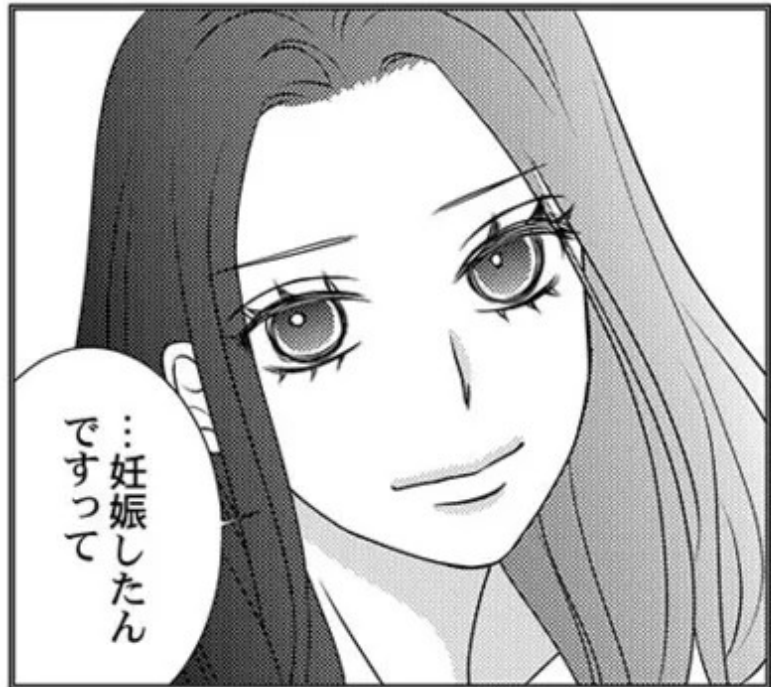
前の
 職場の
 先輩から

結婚
 パーティーの
 お誘いと
 あと

せいしろう
 清史郎さん



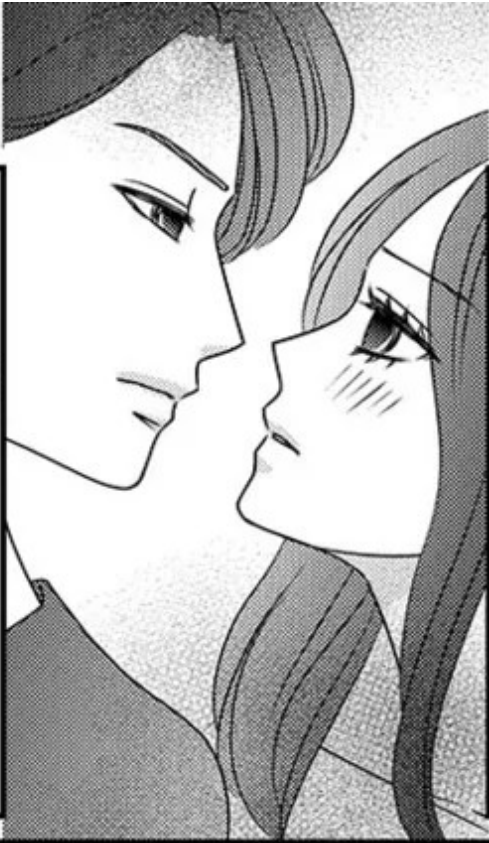
誰から?
 真琴



：妊娠したん
 ですって

「次のママは
真琴ちゃん
かな？」

TEL.00-00-0000
お手数ではござ
りませんが、30日までに返信
をお願いします。現在5月で、
次のママは真琴ちゃん



私たちには
関係ない…
わね…



結婚して
2年
出会って
からは4年



それがいいと
思ってた
結婚した

はず
だった…

真琴さん
もうちよっと
おしやれ
したら？

浦川うらかわくん

正解

今朝校了
したばっか

ホント
仕事命っすね…

あたりまえ
でしょう

フリーの
デザイナー
なんて
そのくらいじゃ
ないと

あなたも
やってけ
ないよ？

そうだ今
忙しい？

新しい案件の
コンペがあつて

せっかく
美人なのに

そんな
仕事場から
直接来た
みたいなの…

良ければ
ちよつと
手伝って…

真琴ちゃん！
賢くん！

さかた
坂田先輩

おめでとう
ございます

ステキな
旦那さん
ですね

真琴ちゃんの
旦那さん
ほどじゃ
ないわよお

大手代理店の
やり手で
有能でイケメン！

美人は
トクよねえ

はは…

真琴ちゃんは
子供まだなの？

ああ…
うちは

あまり
考えたこと
なくて

ええー？
もったい
ない

せっかく
女として
生まれたのにイ

ああ…

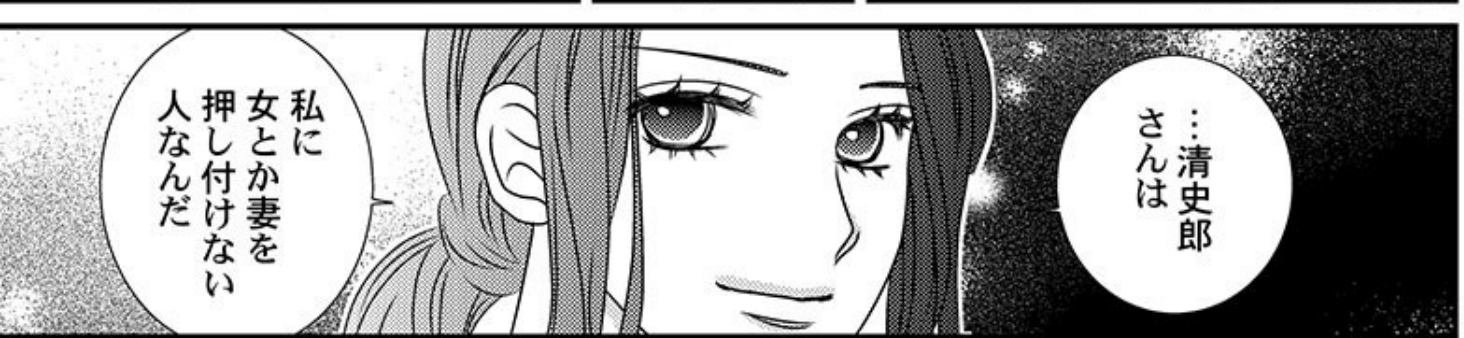
はは…

ええ？
なんで？

身体
の
具合でも
…？

い…いえ
仕事も忙しいし
ふたりの時間を
大事にしたいし…







…なんでも
ない

…それって
結婚した
意味あるの？

俺だったら
好きな女とは
一緒にいたいし

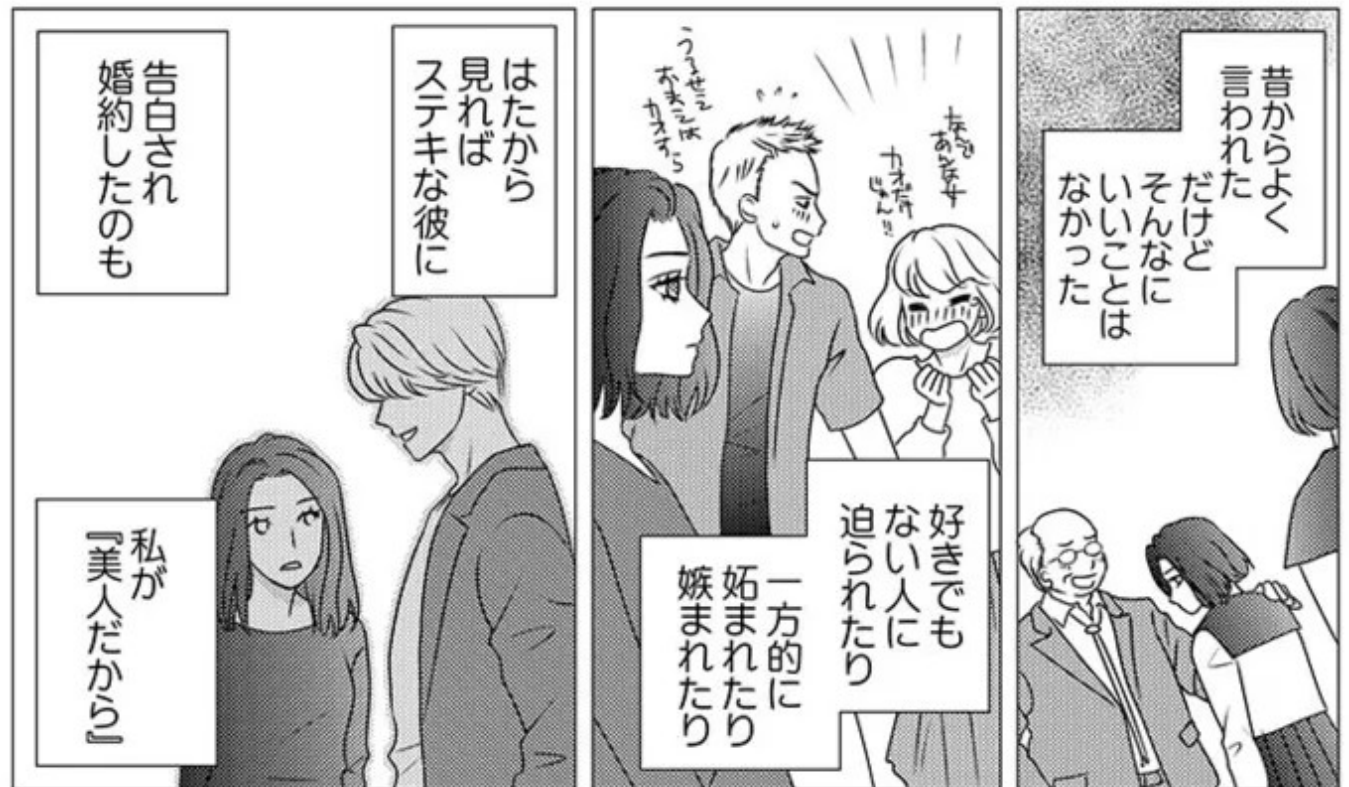
そいつを
女として
幸せにしたいから
結婚するけどな

私たちには
こういう
関係が
合ってるの



だって
私は
『女』を
捨てたから

『美人は
いいよね』



昔からよく
言われた
けど
そんなに
いいことは
なかった

好きでも
ない人に
迫られたり
一方的に
妬まれたり
嫉まれたり

はたから
見れば
ステキな彼に

告白され
婚約したのも

私が
『美人だから』



でも仕事は『実力』を見てもらえる

結婚を待たせたら婚約者は若い子と浮気した

彼と別れた私は私に必要な『女』を捨てた

なのに...

それでは週末までに初稿の方を

だからもう少し自分を試したくて



笛木さん 待って

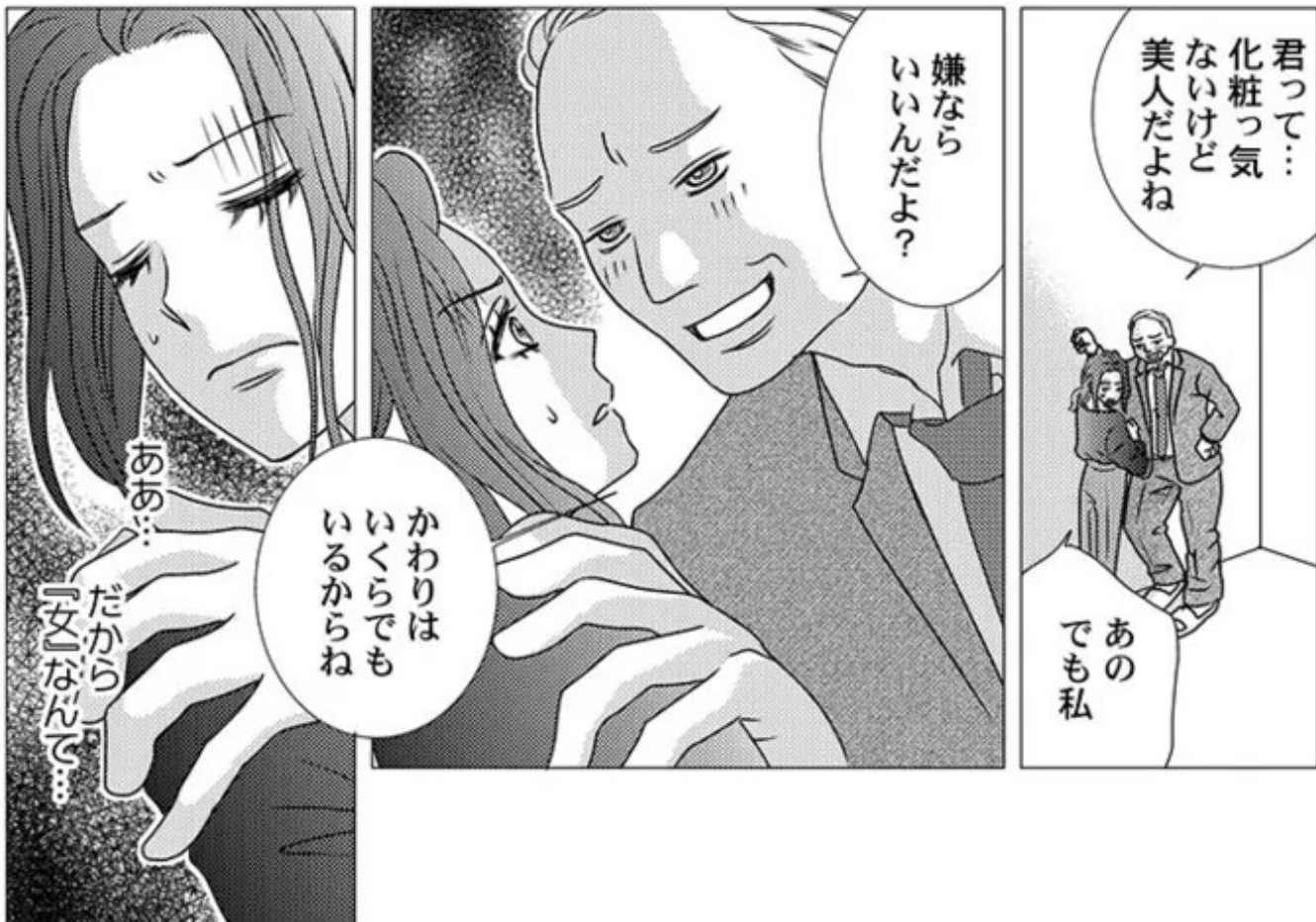
この後 飲みに行かない？

ふたりで

え？

君こんな大きい案件初めてでしょ？

クライアントとして不安でさあ



君って：化粧っ気ないけど美人だよ

嫌ならいいんだよ？

かわりはいくらでもいるからね

だから『女』なんで



井岡か
井岡っ？

部長に
社外の
打ち合わせは
禁止されて
ましたよね？

どうしました？
主任

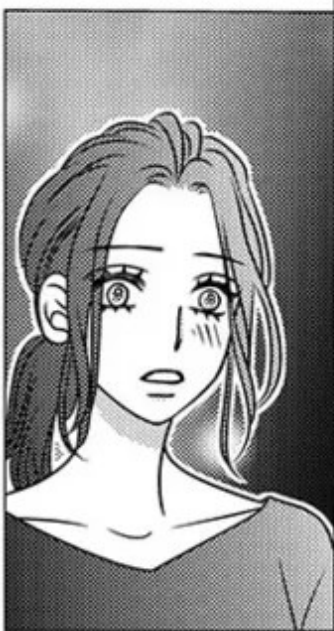
いやその
それは

報告されたく
なければ
担当を
外れてください



はじめ
まして
井岡清史郎と
申します

申し訳
ありません
でした
上司が大変
失礼なことを…



…不快
でしたよね

本当に
すみません



仕事の
打ち上げが
きっかけで

いつしか
ふたりで飲み
行くように
なって…

世の中の男が
みんな
井岡さん
みたい
だったらなあ

安心して
仕事できる
のに

いやあ
それは
まずいでしょ

酔ってる
なあ

どうして？
セクハラ
しないし
有能だし
セクハラ
しないし

僕は女性を
幸せに
できないから…

いやあ
違います

…私きつと
井岡さんと
だったら

なんで？
男性が
好きとか？

じゃあ
なんで？

幸せに
なれそう
ないかな
気がするな…



…苗木さん

…僕は
ダメですよ

私では
ダメですか？

すみません…
でも私
本気です

いや
そうじゃ
なくて
僕が

私は
井岡さんが
いいんで…

不能なん
です
男として



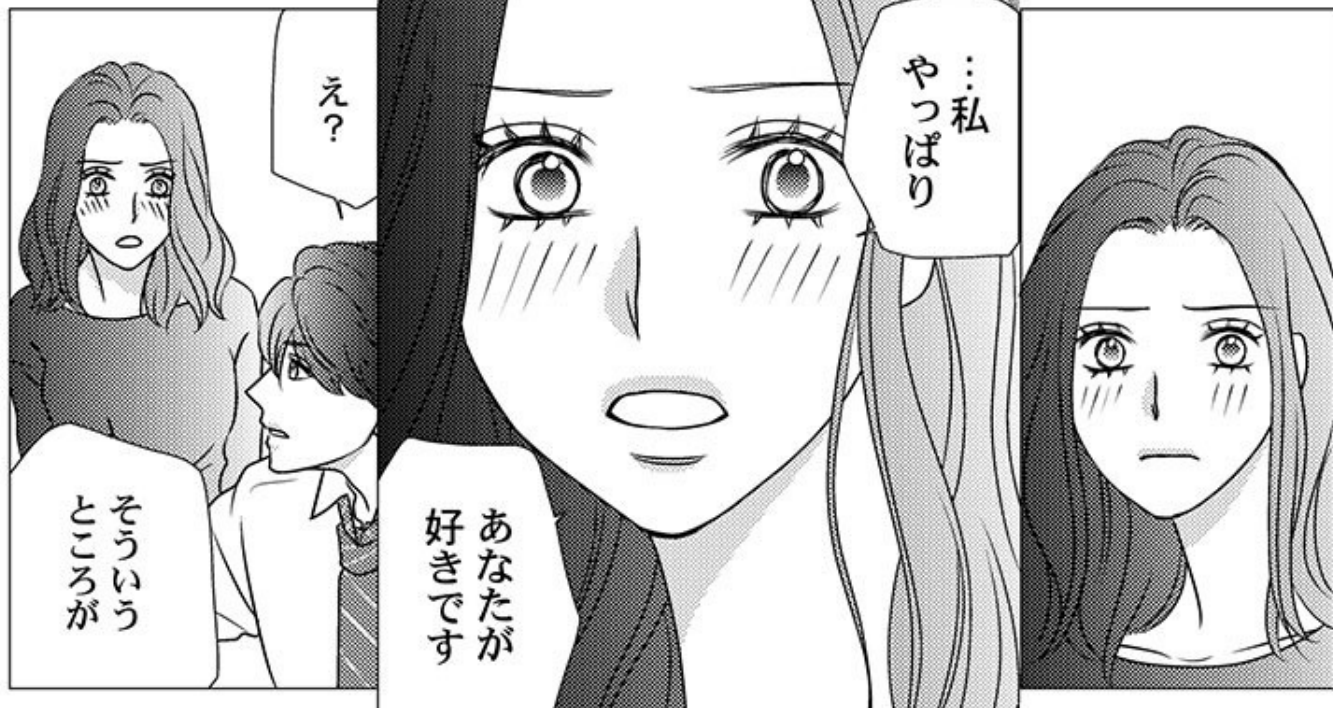
え？



…EDって
やつで

だから
あなたの
せいじゃない

僕じゃあなたを
幸せに
できないだけ
です

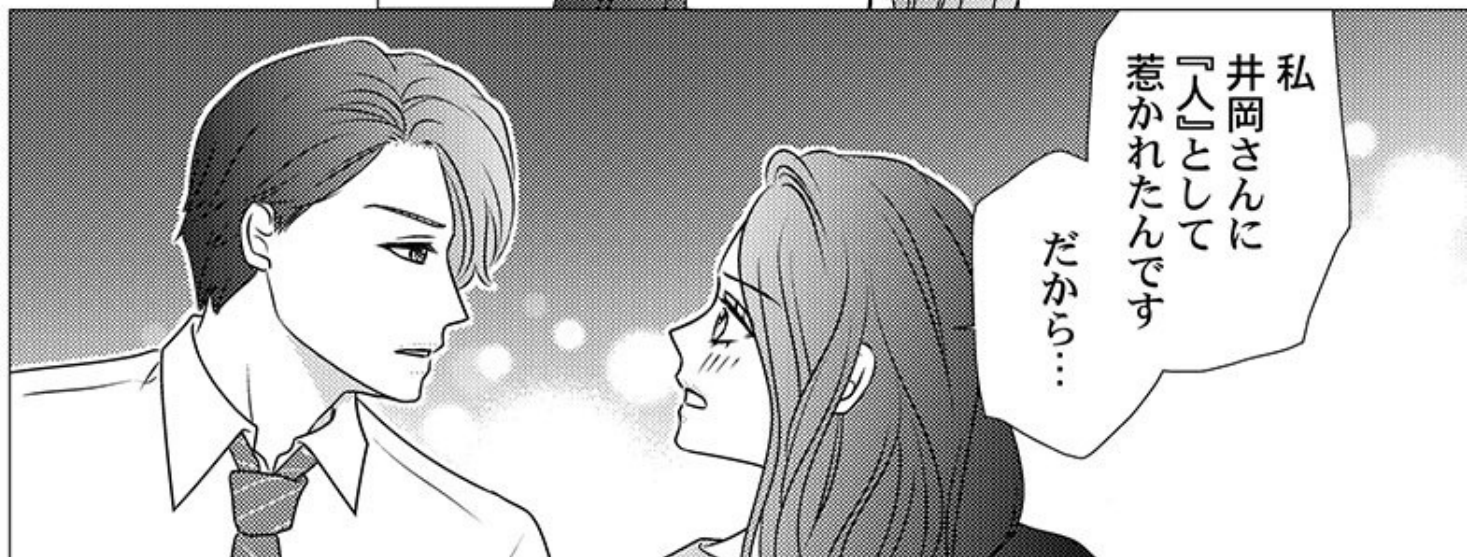


…私
やっぱり

え？

そういう
ところが

あなたが
好きです



私
井岡さんに
『人』として
惹かれたんです

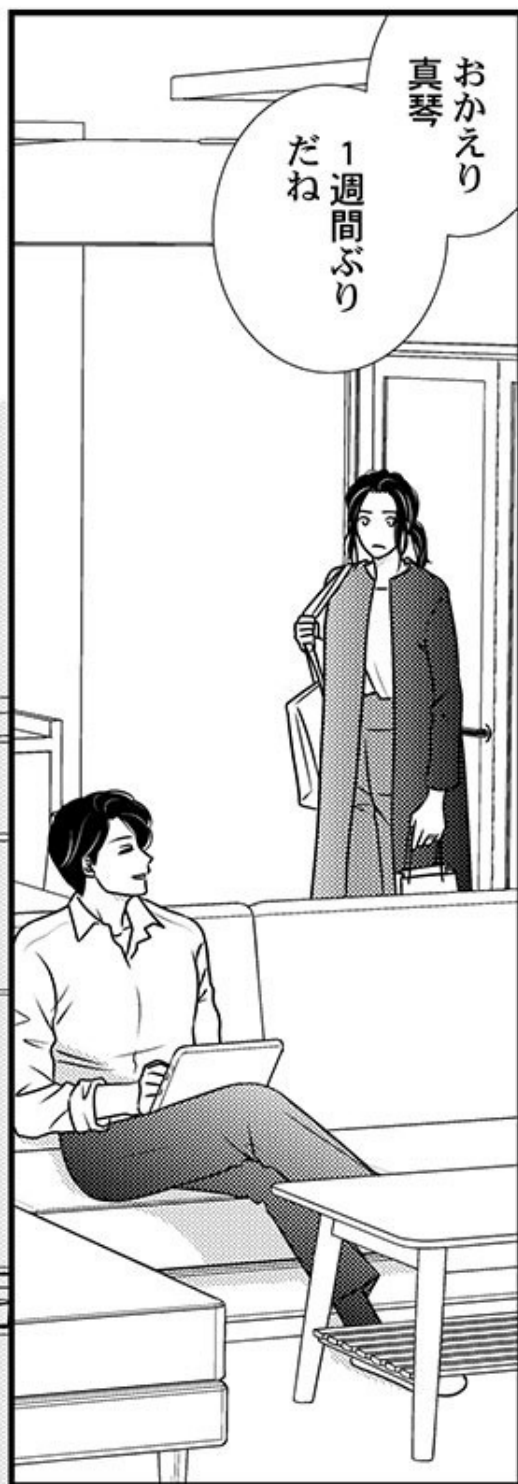
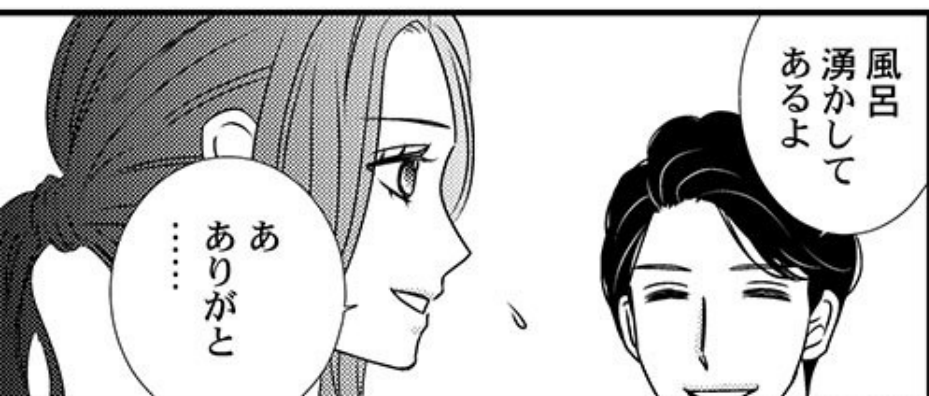
だから…

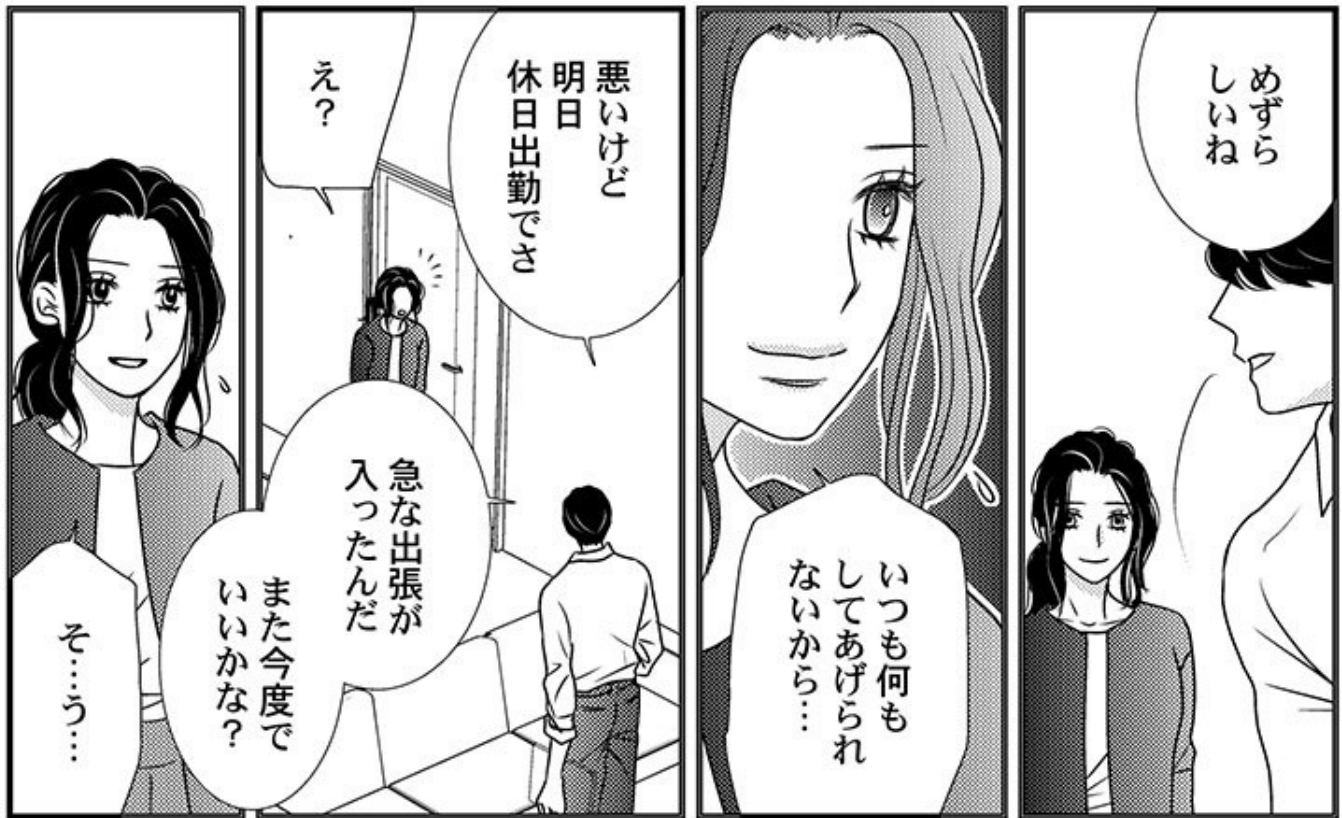


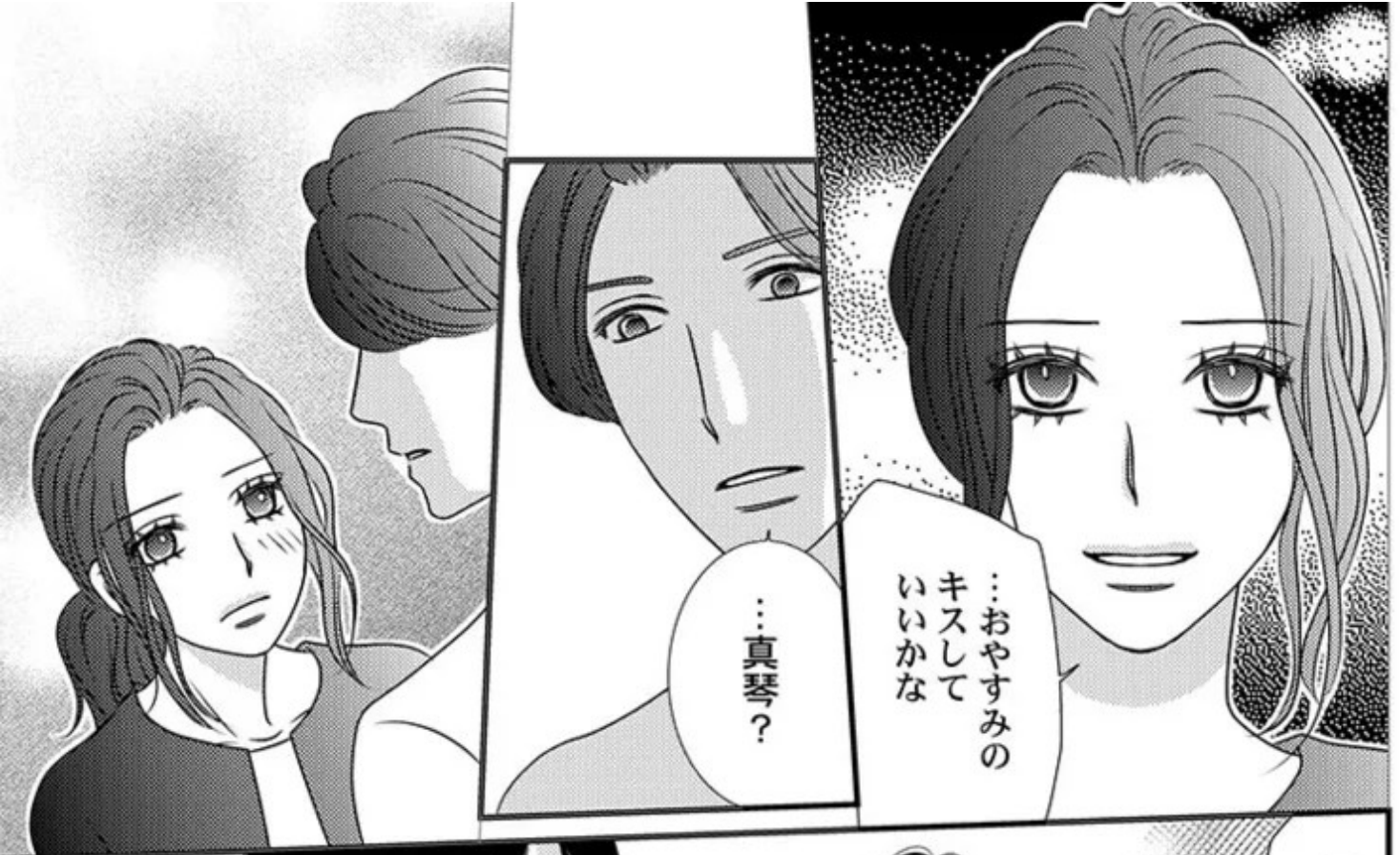
彼との関係は
快適だった

いつでも
自分らしく
いられるし

触れ合わ
なくても
尊敬しあえた











俺だったら！

こんな夜中に
嫁を心配
しないような
夫にはならない！

な…
ちよつ
何言つて
んの？



俺
真琴さんが
好きなんだ

え…
え？！

真琴さんが
結婚する
前から
ずっと



人妻だと
わかってても

『男』として
あなたが
欲しい



俺は
本気だよ



…あ
あたし
帰るっ！

送らせて
ください

いらな
いっ
だっ
て

こんな深夜に
危ないし
それに

タクシーで
帰るから
大丈夫…

送らせて



いきなり
迫ったのは
謝ります

もう何も
しないから

でも

すみま
せん…

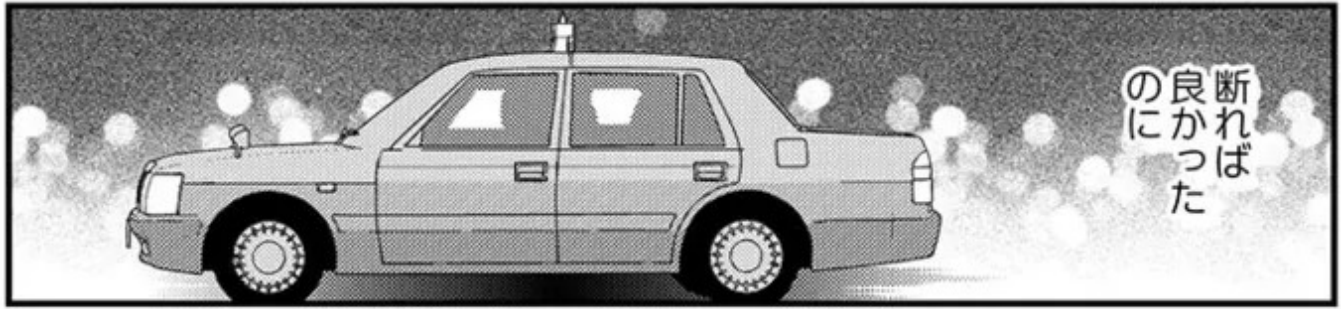


このまま
帰らせたら

無かったことに
するでしょ？

俺の
気持ち…

でも…
本当に
好きなん
です…





違うの
これは

僕が勝手に
送った
だけです

それ
じゃあ…

せ
清史郎
さん?!

真琴さん
ご主人に
心配かけたく
ないから
帰るって

でも
心配で

待って



浦川さん
でしたっけ

良ければ
休んでいって
ください



え?!

深夜に妻が
ご迷惑を
おかけした

少しうちで
眠ったらいい

そうだよね?
真琴

清史郎
さん…?





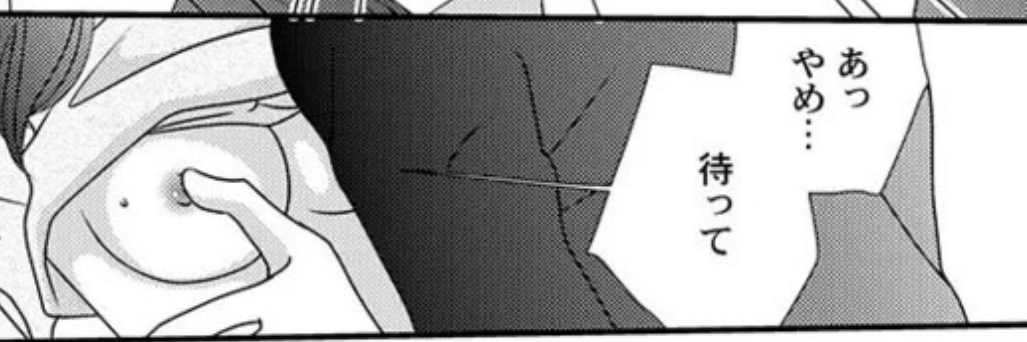
せ
清史郎さ…



…っ！



急に
どうした
の？



あつ
やめ…

待って



清史郎
さんの…
硬い…？



え…



いいじゃ
ないか

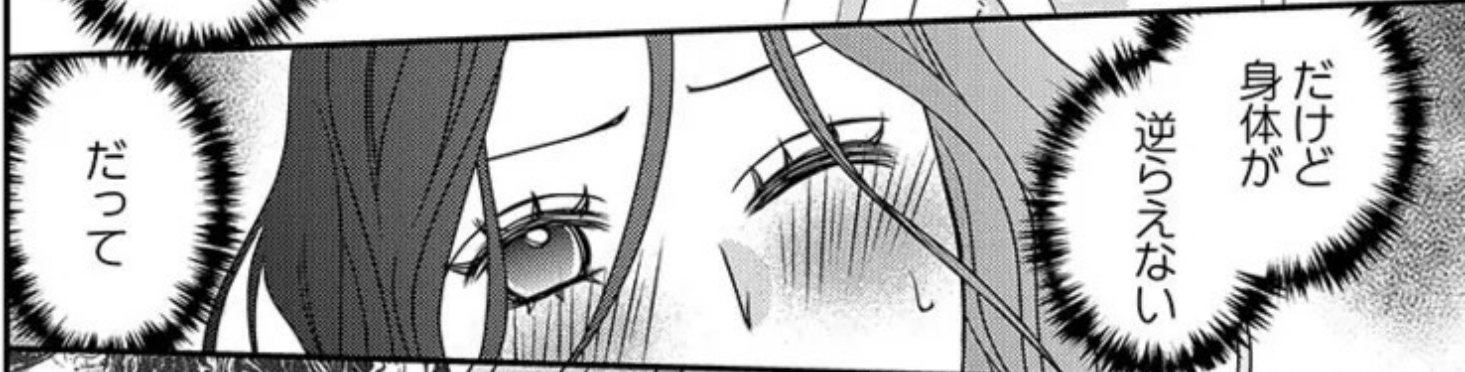
君は僕の
『妻』だろ…？





どうして…?!
EDだった
はずの夫が

彼に
嫉妬して
反応してる…?!



だけど
身体が

逆らえない

だって



清史郎
さんが

私を求めて
いる…?!

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

第 2 話

清史郎さんが

私を
求めている…?!

でも
浦川くんが…

せ
清史郎
さ…







あれから
数日

私達は
いつも通り

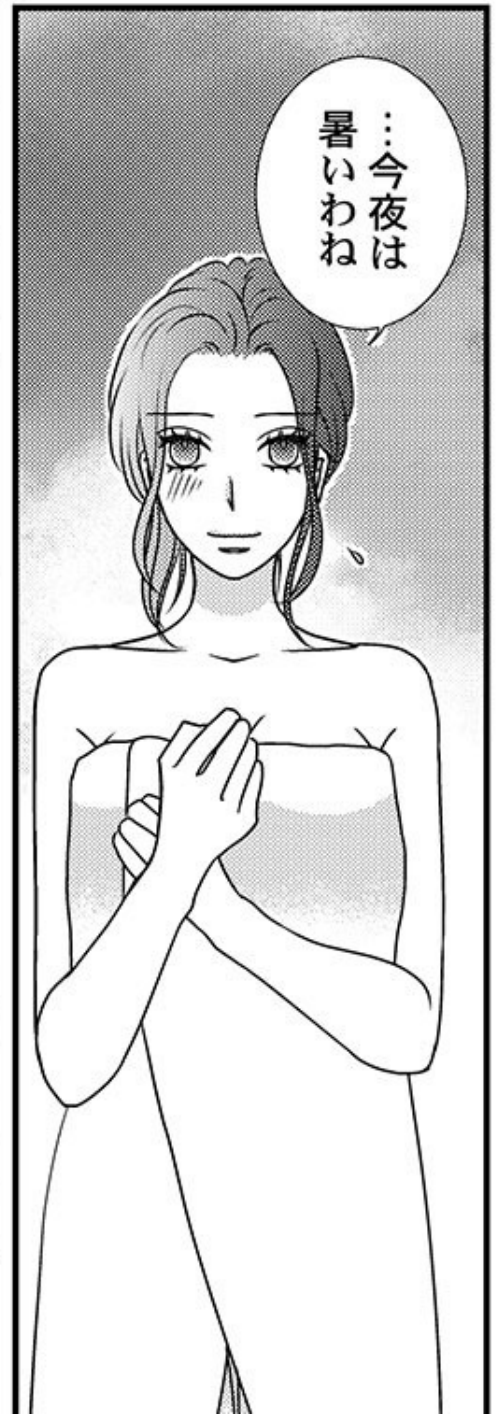


お風呂
先に
ありがとう

うん



…そうかな



…今夜は
暑いわね



…そうね…

まるで
何事も
なかったかの
ように



早く服を
着たら
風邪を
引くよ

…だけど



…だけど
私は
本当は…

あのとき

清史郎さん
勃ってた…

不能っていうのは
嘘だったの？

どうして
あんなに激しく
求めてきたの…？

胸が
苦しい

清史郎さん…



すみません
でした！

あの夜は
酔ってたとは
いえ

人妻に
告白なんて…

もう
いいわよ

仕事さえ
ちゃんと
してくれば



ほんとに？

じゃあ
わがまま
ついでに

まだ先輩を
好きでも
いいですか

えっ？！



お願いですっ！

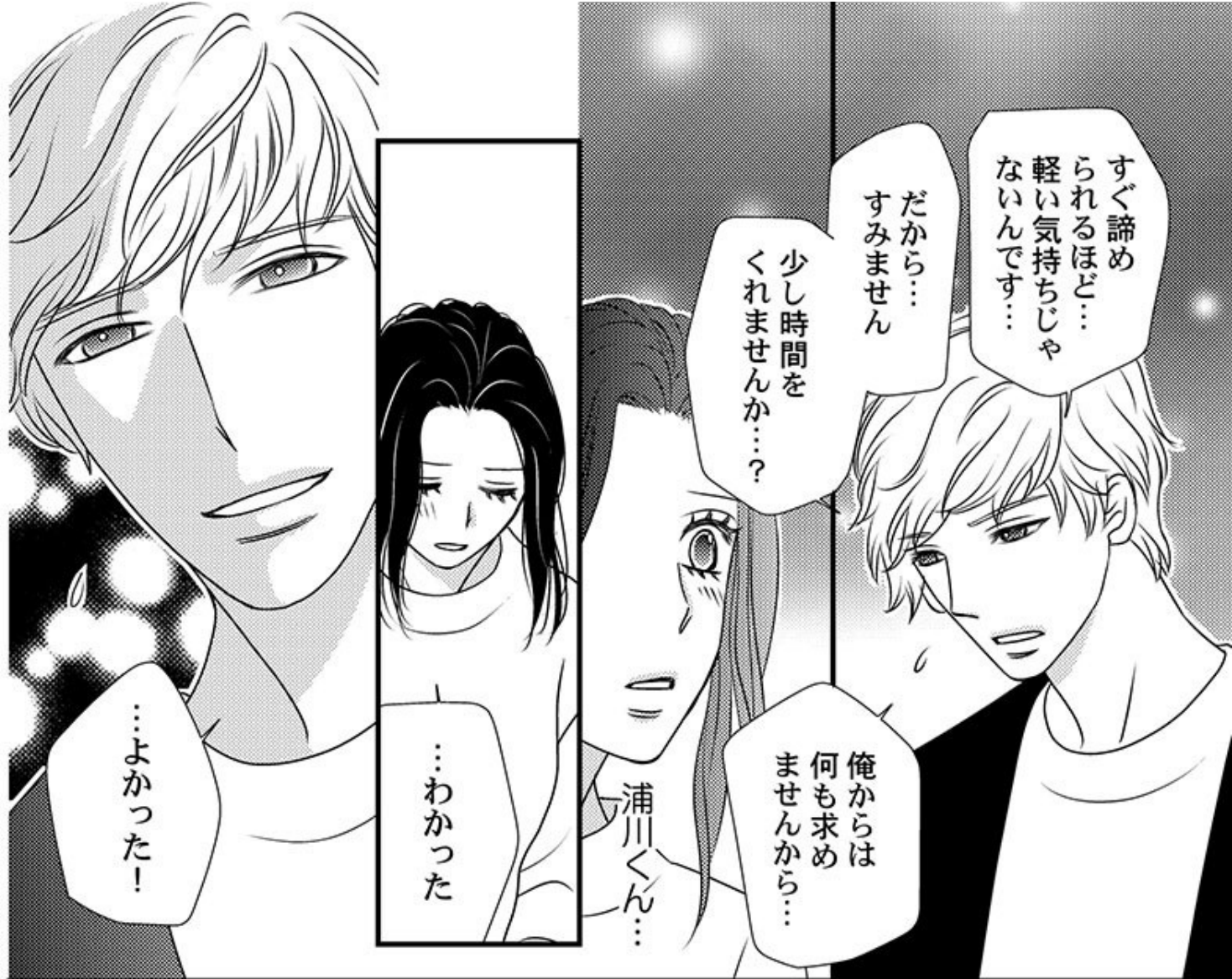


あつ
大丈夫！

今まで通りに
してもらえば！

絶対迷惑は
かけないんで！

いやいや
ちよつと
でも私は



…よかった!

…わかった

浦川くん…

俺からは
何も求め
ませんから…

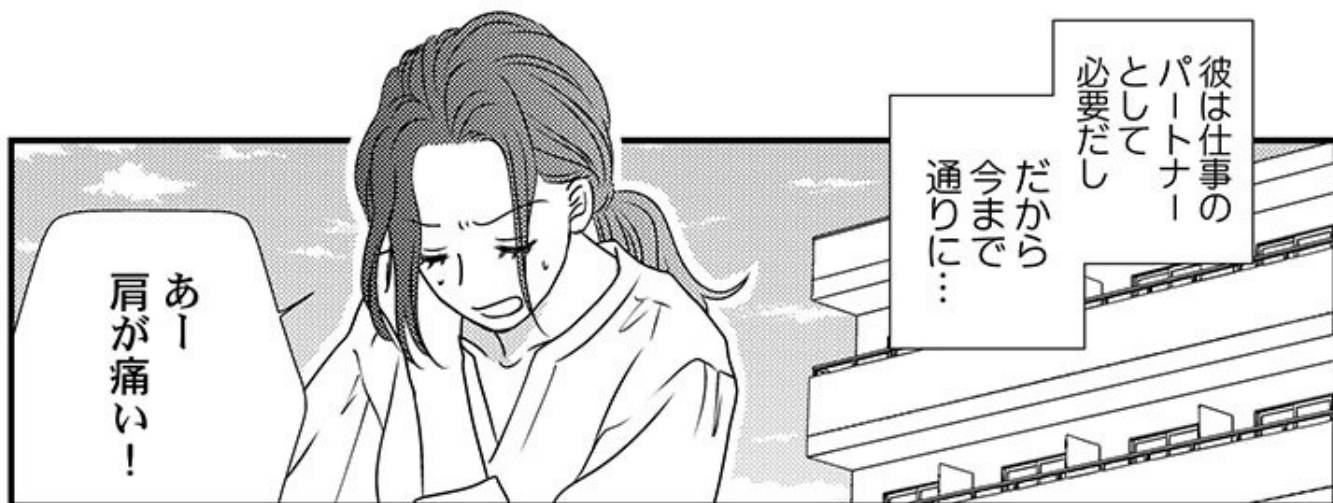
少し時間を
くれませんか…?

だから…
すみません

すぐ諦め
られるほど…
軽い気持ちじゃ
ないんです…



これで
いいのよね



あー
肩が痛い!

だから
今まで
通りに…

彼は仕事の
パートナー
として
必要だし



あー…っ
気持ちい…

はあ



肩のツボは
ここだよ

あー
そこそこっ



大丈夫？

整体行けて
なくて…



え？
なあに？

…いや
なんでも



ふ…ん…



…ああ…
ないなあ
そういえば

彼は温厚で
仕事の愚痴とか
持ち込まない
人だから

私も
同じように
しないと
悪いじゃない



旦那に
揉んで
もらったり
しないの？

あつ
あつ
あつ

気持ち
いい…？

旦那…
もつたい
ないよ

あ…
う…ん

え？

こうやって
触れ合うだけで

お互いに
気持ちよく
なれるのに…

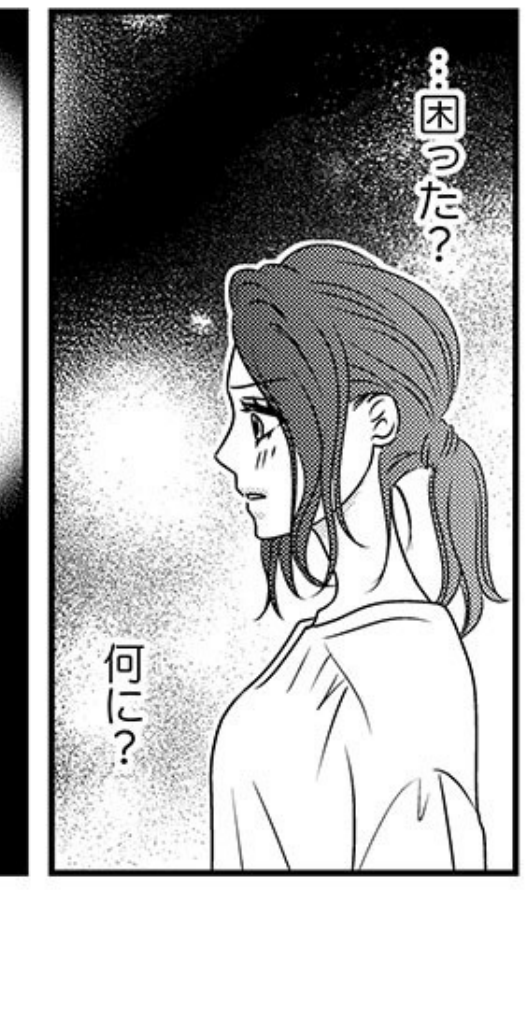
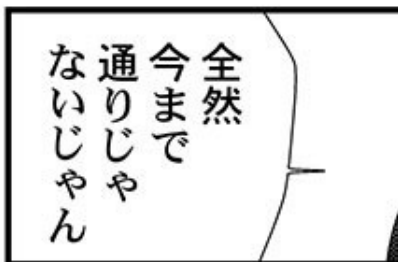
な…

自立した
関係ってさ

甘えられ
なくて
しんどそう
だね

女の子は
甘えた
ときが

一番
かわいい
のにね…





浦川くんは私に女を求めているのに？

私は女を捨てたのに？

「あの彼にプロポーズされたの?!」

「いいなあ美人は」

「あんないい男に選ばれて幸せだね！」

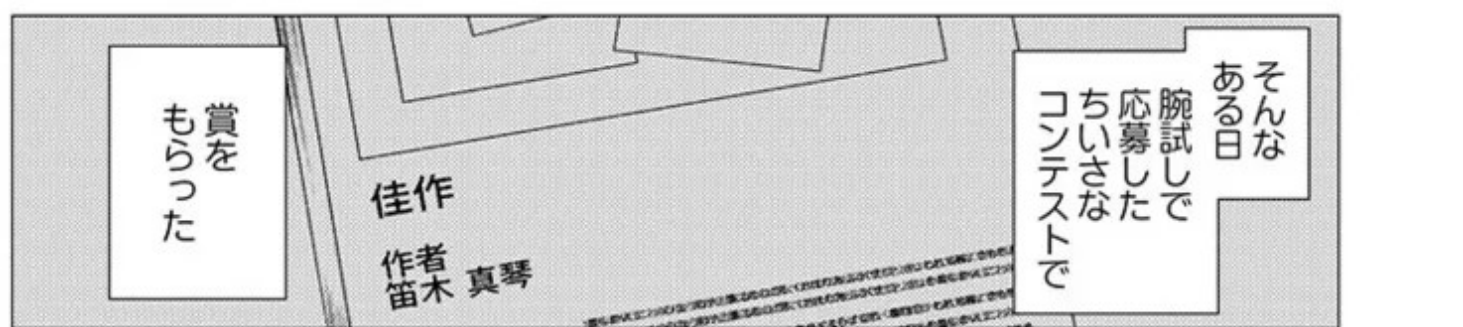


でもその彼を好きなのかよくわからなかったんだけどみんな喜んでくれるし

「結婚も出産も若くてきれいなうちがいいわよ」

「女」として求められるのだから

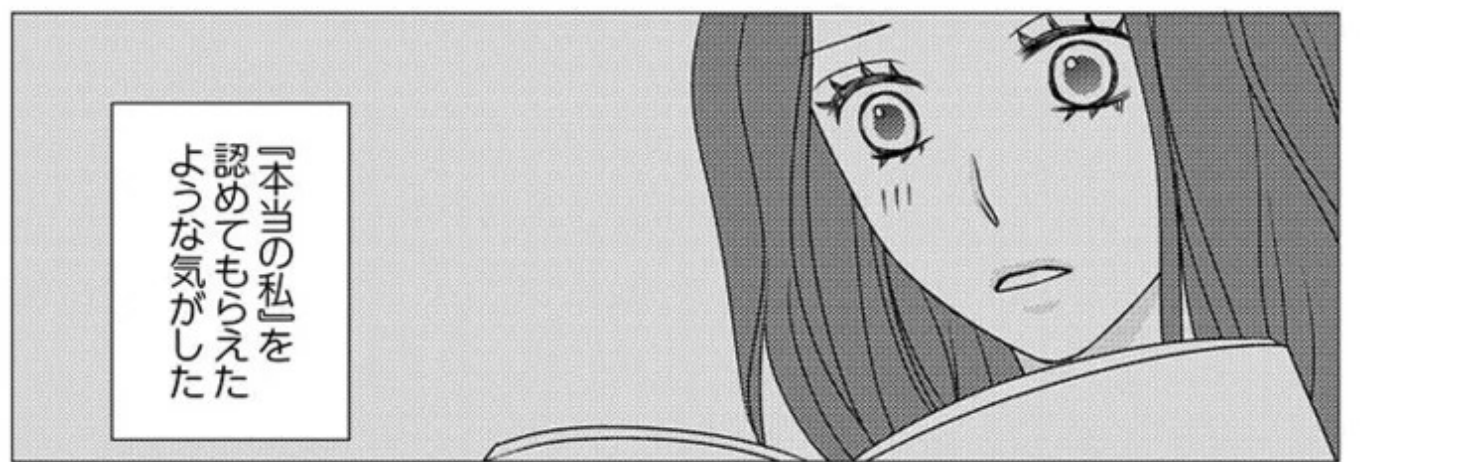
あなたは「幸せ」よ



そんなある日腕試しで応募したちいさなコンテストで

佳作
作者 真琴
作者 笛木

賞をもらった



『本当の私』を認めてもらったような気がした



私…
もしかして
今さら

『女』として
求められたく
なってる…？

「君は
こういう
ことは求めて
なかったね」

もし私が
求めたら

あなたは
私を求めて
くれるの？

あのとき
みたいに…

真琴
まだ
起きてる？

僕はもう
寝るよ
おやすみ

「甘え
られなくて
しんどそう」

あの…
清史郎さん

…こ
今夜

一緒に
眠って…
いい？

え？

ああの
最近忙しい
せいか
ひとりだと
眠れなくて…

…いいけど



僕のベッドは狭いし
ひとりの方が眠れると思うよ…？



…清史郎さん

眠ってる…？



私の方を向くことはなかった

清史郎さんは朝まで



「君は僕の
妻だろうか？」

あのときどうして
私を求めたの？

あのときだけしか
求めなかったのは
どうして？

私は

私は
あなたの
なんなの…？

えっ
ほんと？

浦川くん

わかった
やりましょ
一緒に
がんばろう



…彼は君に
気が
あるのかな？



どうしたの？

え？
ああ
ちよつと
大きい案件で
浦川さんと
組むこと
になりそう



…浦川って
あの…？

…そうよ？



え？
な何
言ってるの？

彼とは
仕事の
関係だけよ？

そう
だよ

君は僕の
妻だからね…





清史郎さん…？



それ以来
清史郎さんの
様子が
おかしい



「今夜はこれから
打ち合わせだから
また明日」

「今夜はこれから
打ち合わせだから
また明日」



私が仕事で
帰らないと

異常なくらい
様子を
伺ってくる



いまは仕事場？

一人？それとも
誰かいるの？

今日も
帰らないのかな？

忙しいかな？



もしもし
清史郎さん？



「浦川くんと
ふたりきりじゃ？」



ああ真琴

どうしたの？
こんなに
送られても

悪いけど
今から
打ち合わせで
返せないから



え？！



しばらく
送らないで…

じつは今
そっちに
向かってて



心配で
来ちゃったよ

泊まっても
いいかな

ちよつ
困るわ
これから
浦川くんが



清史郎さん?!



浦川
あいつの
セックス…
そんなに
いいんだ?



そんなに
彼とふたりに
なりたいの?

え?!

何
言ってるの?



僕がいて
困るなんて
それしか
ないだろ?

バカ
言わないでよ
仕事しか
しな…



な…?!



…僕が
抱けない
からって
他の男と

ちっ
ちがうわ!!

いいかげんに
して!!



あなた
こそ!!

あのと
き
不能
じゃ
な
か
つ
た
!!



なの…
あのと
き
以
外
指
一
本
触
れ
な
い
じ
ゃ
な
い
…?
?



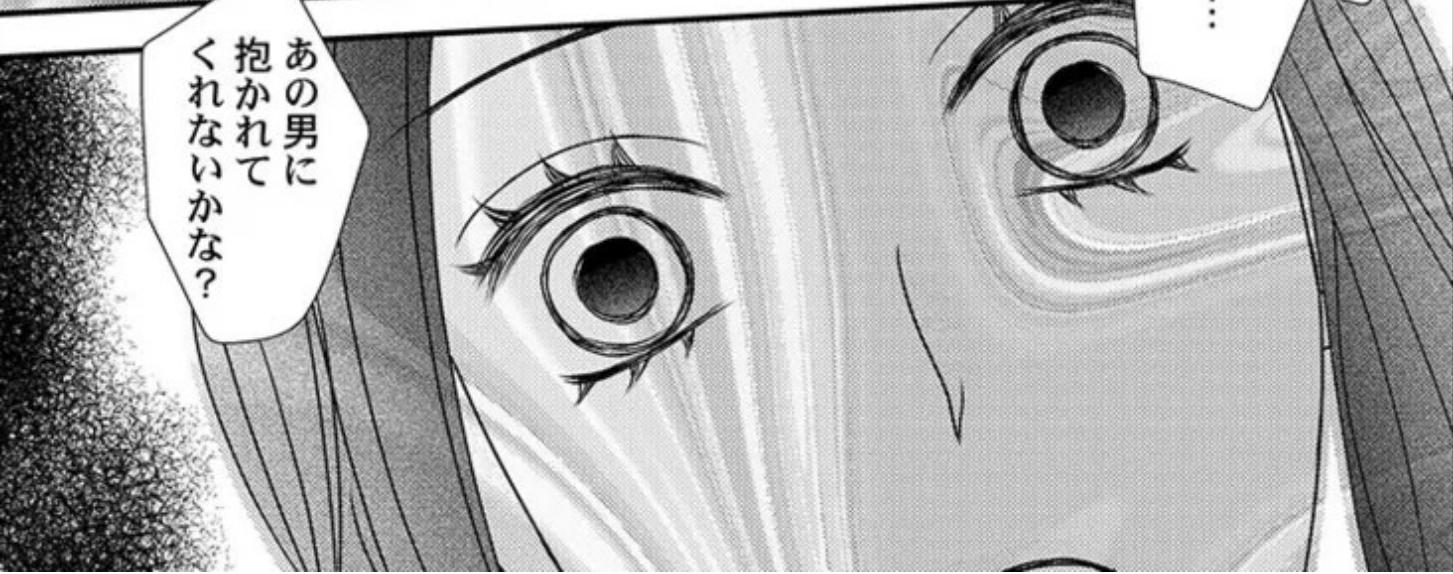
どうして?!
何を
考
え
て
る
の
?!
?

私
を
ど
う
し
た
い
の
…?
?!
?



…知
り
た
い
?
?

じ
ゃ
あ
…



あ
の
男
に
抱
か
れ
て
く
れ
な
い
か
な
?
?

え?!

あの夜君が…
あいつと
抱き合ってたのを
見たとき

すごく…
色っぽくて…

突然…
君が欲しく
なったんだ

不能なのは
嘘じゃない

だけど…
僕が興奮
するのは
人とは少し
違って…

愛する
ひと
女が…

他の男に
奪われそうに
なっている
姿を見ると

苦しくて…
愛しくて…

たまらなく
なるんだ…

な
何言っ

ねえ真琴
僕が欲しいなら

あの男に
抱かれてよ

誰かに抱かれて
感じる君を
見せて…

清史郎さ…?!



真琴…
愛してるよ



わかってる
よね？



真琴さん？



真琴さん？
カギ開いて
たよ？

不用心
だ…

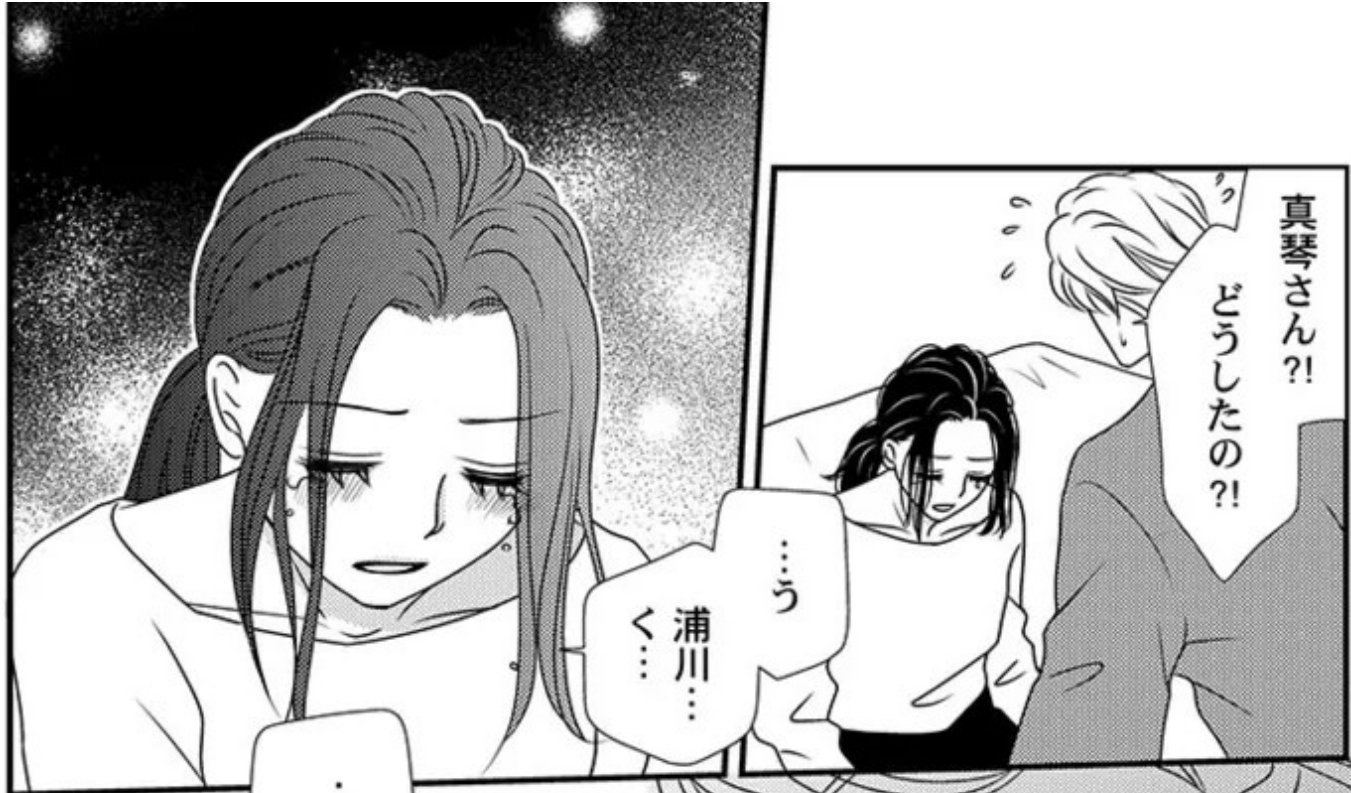


ちよつと
休んだら



どうしたの？
顔色が
悪いけど…





...だ
抱いて...





俺…まだ

…いいの？

真琴さんのこと
好きだから…

…止められ
ないよ？
俺からは…



…っ



私！
どうして
こんな！

清史郎さんが
見てるのに

あ…
浦川

夫の
目の前で

別の男に
抱かれる
なんて

あ…ん

浦川
く…

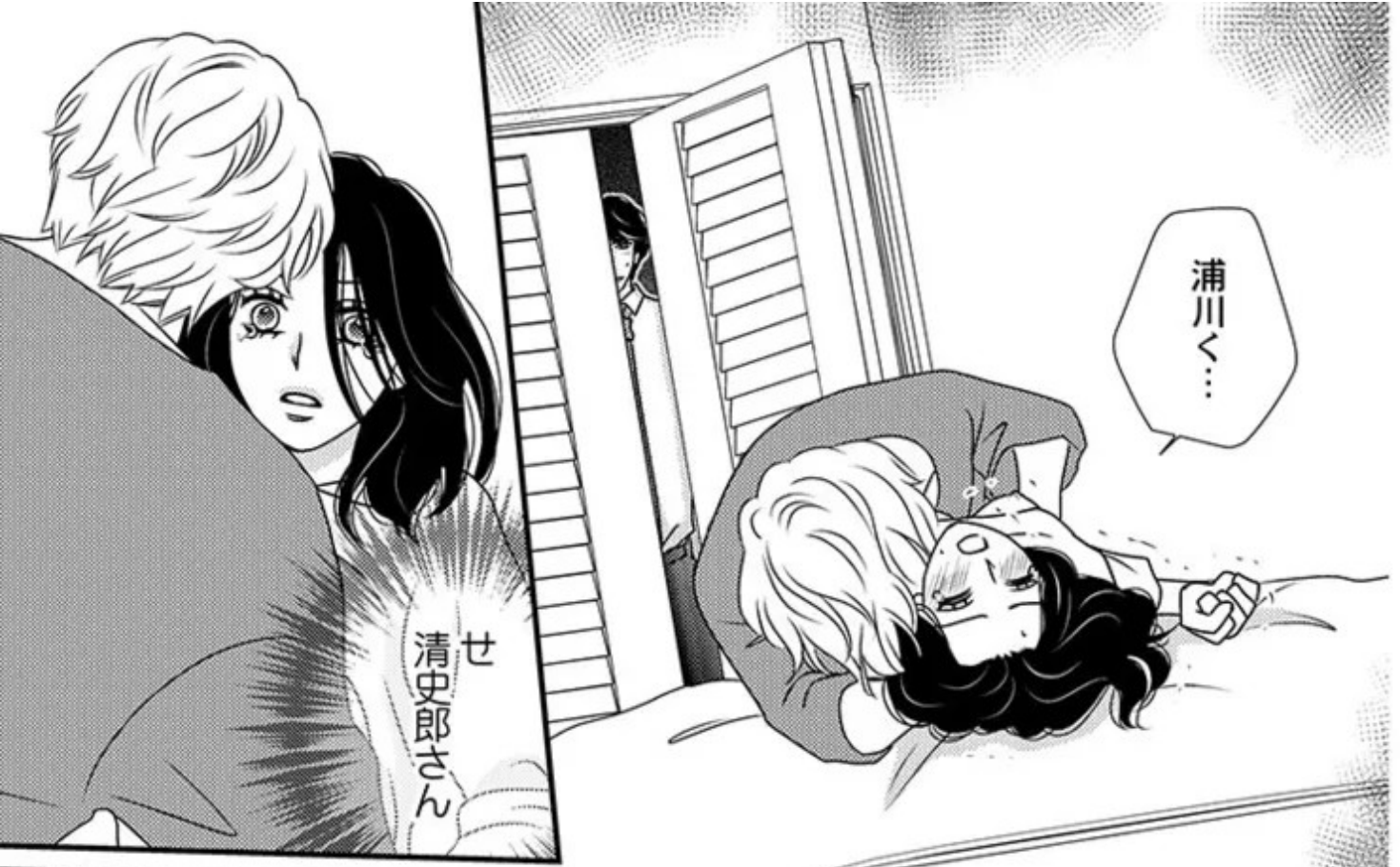
せ

清史郎
さん…!!

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

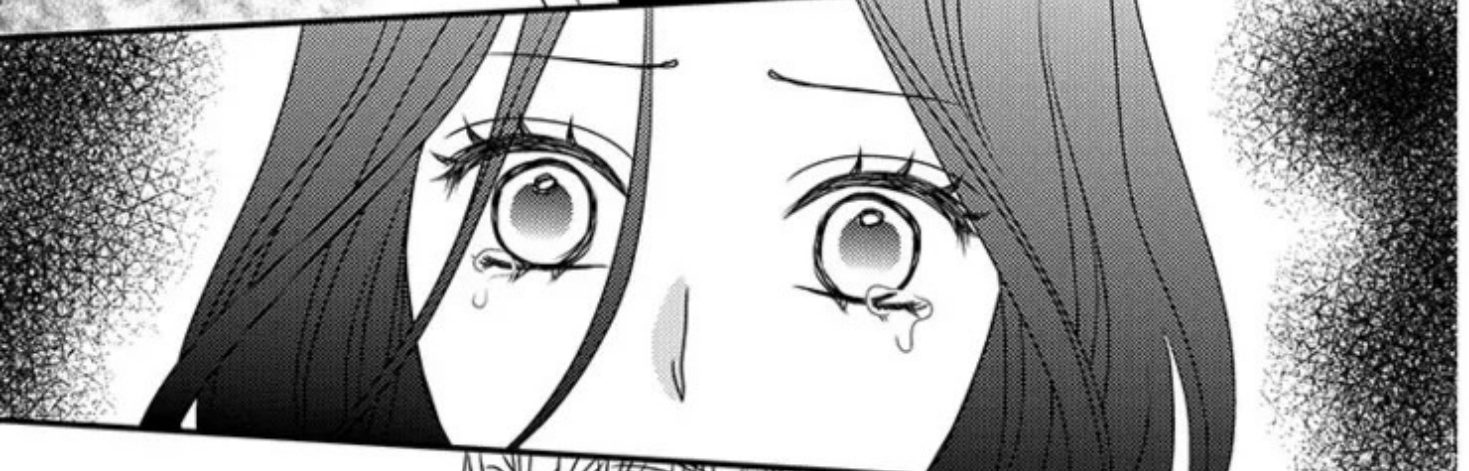
僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

第 3 話

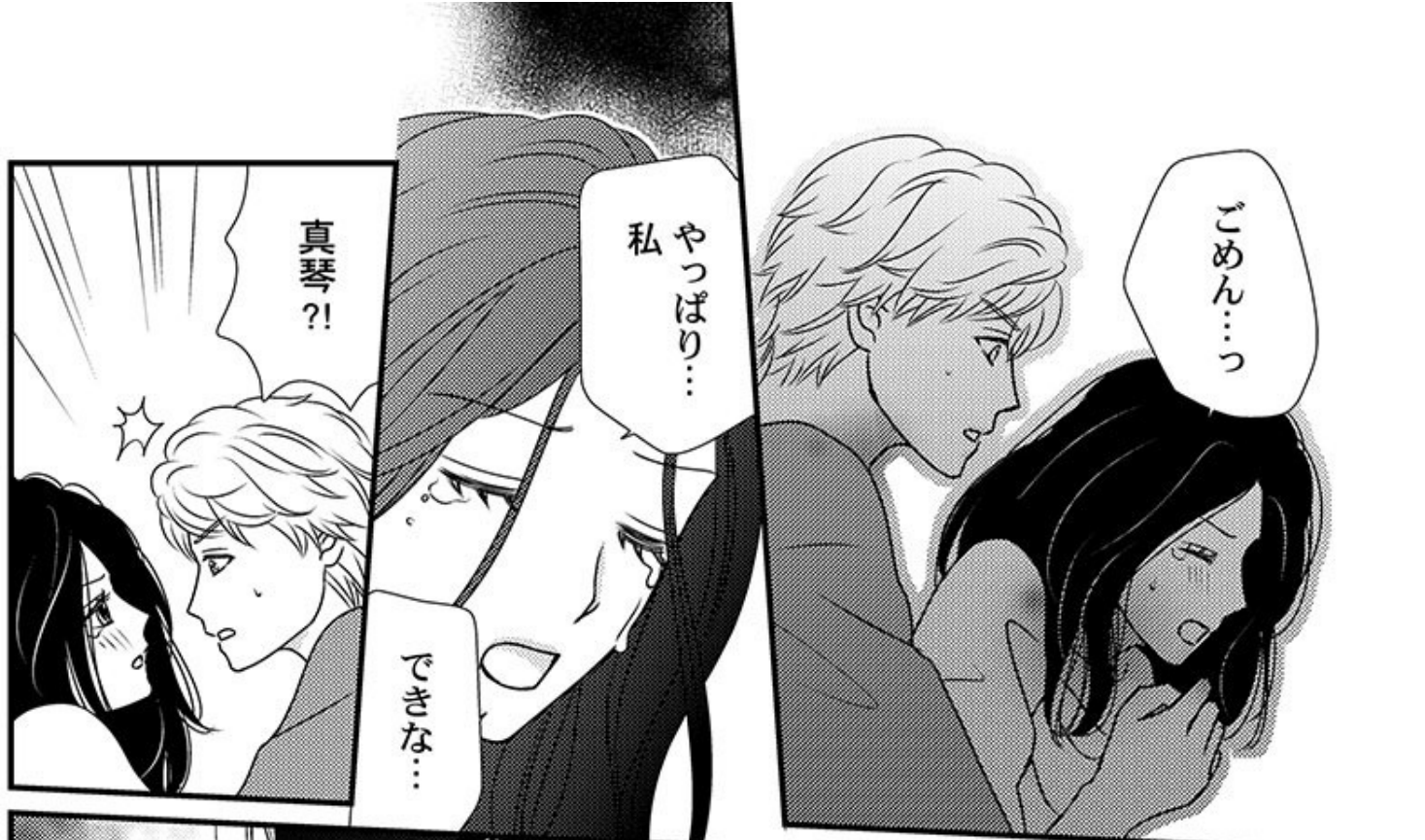


浦川く...

せ
清史郎さん



は...?





真琴さんは
悪くない

う
浦川く…

俺が
悪いんだ

すみません
でした

…でも
本気ですから



もし
真琴さんを
大事に
できないなら

いつでも
奪うから

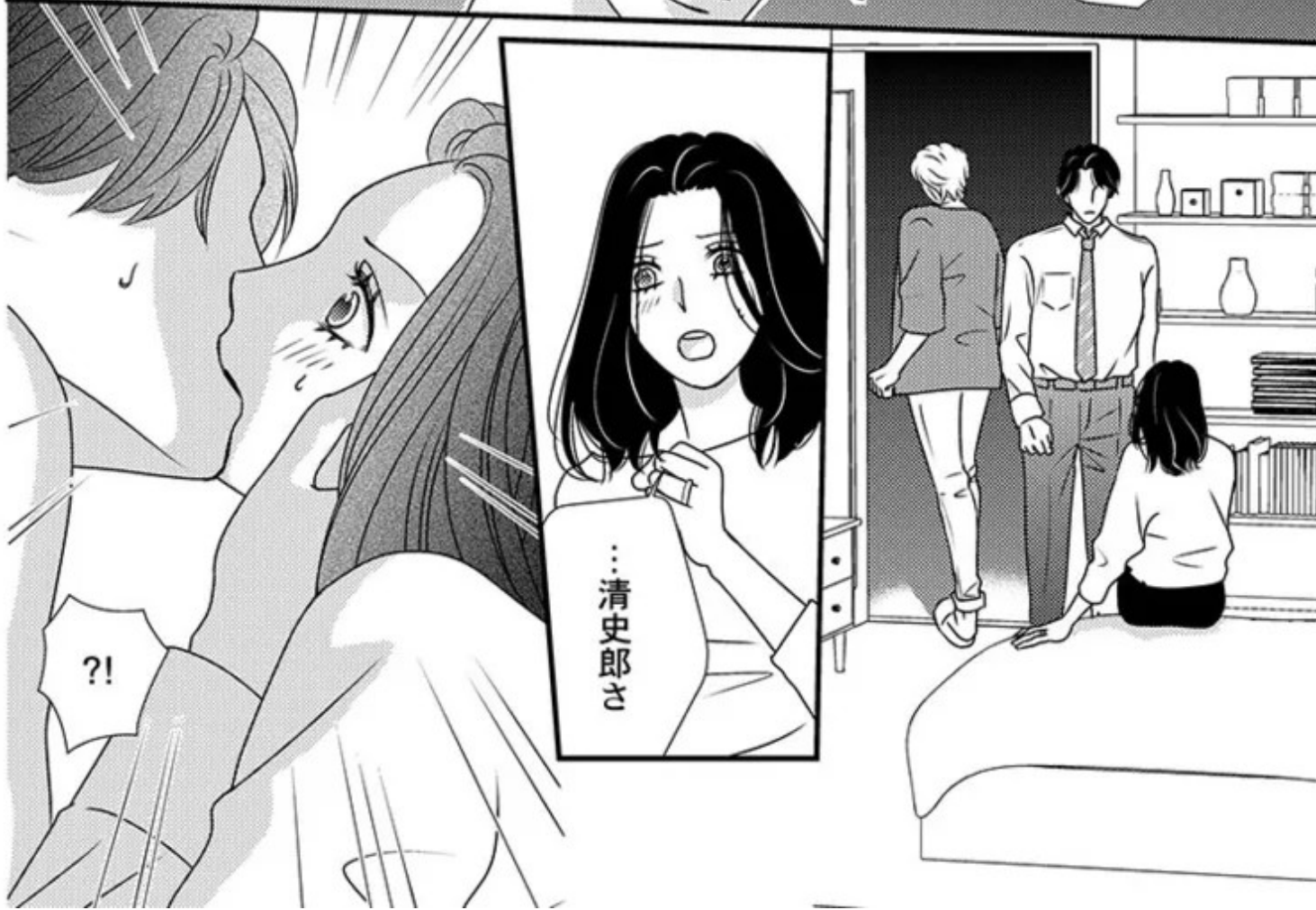


なん…だと？

いやなら
守りなよ

もっと
しつかりさ

…君
自分で何を
言ってるのか
わかってるのか？







違う…

こんなの
違うわ…!



やめてっ!!



…そうだな…

すまな
かった

真琴…



別れてくれ





このまま
一緒にいたら
君も
壊してしまう…



僕は
壊れてる

わかった
だろう？



え?!



すまなかった…



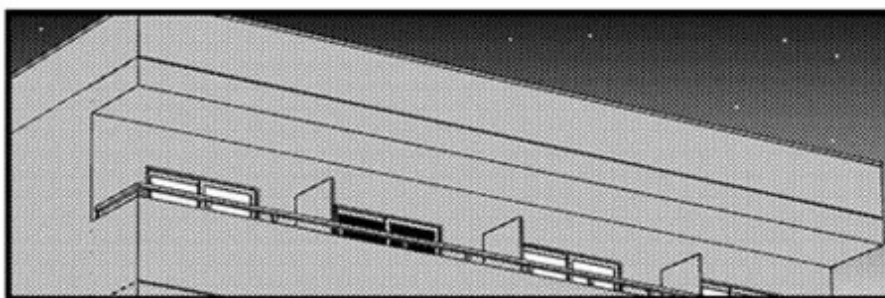
清史郎さ…



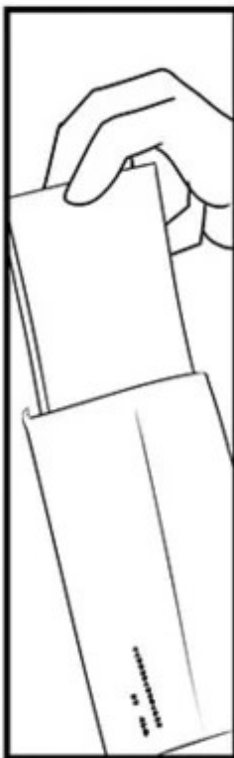
もう誰も…
壊したく
ない…



さよなら...



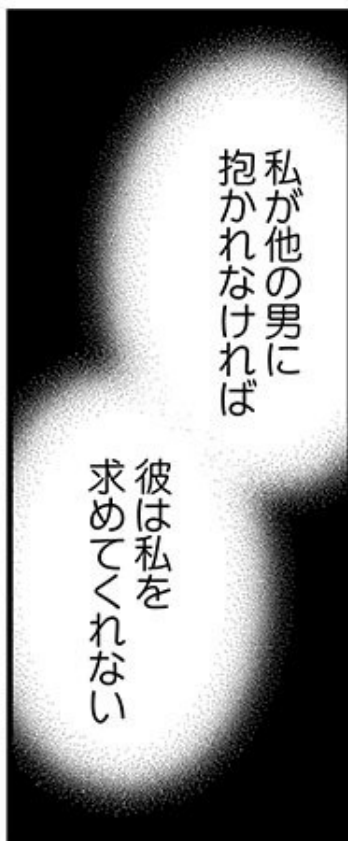
あれから
1週間
私は
ふたりの部屋には
戻っていない...





そんなの…
無理…

彼だけに
抱かれないのに
彼以外の男に
抱かれるなんて



私が他の男に
抱かれなければ

彼は私を
求めてくれない



清史郎さん…



私には
無理

異常よ
そんな
そんな
性癖…



でも

なぜ
だるう

彼に恐怖も
憎しみも
感じないのは

ただ

「僕は壊れてる」

「君を
壊してしまう」

「すまなかった」

「さよなら」

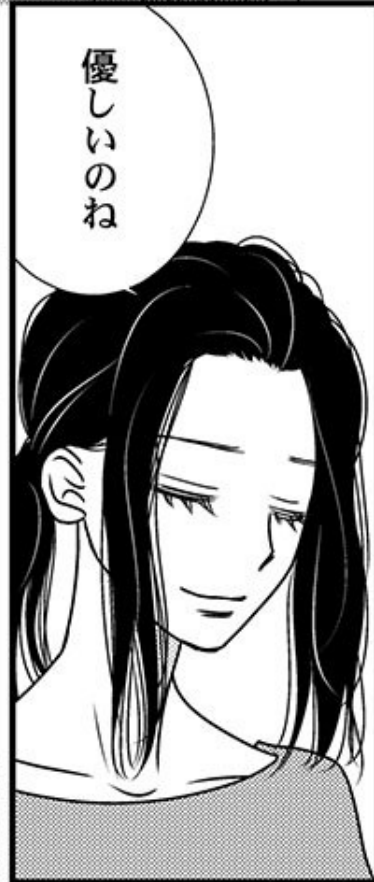
ただ
悲しいのは

なぜ……？

本当に
ごめんなさい

Beny's







…なんでも
ない

浦川くんは
優しい

もし
男と女で
出会わなければ

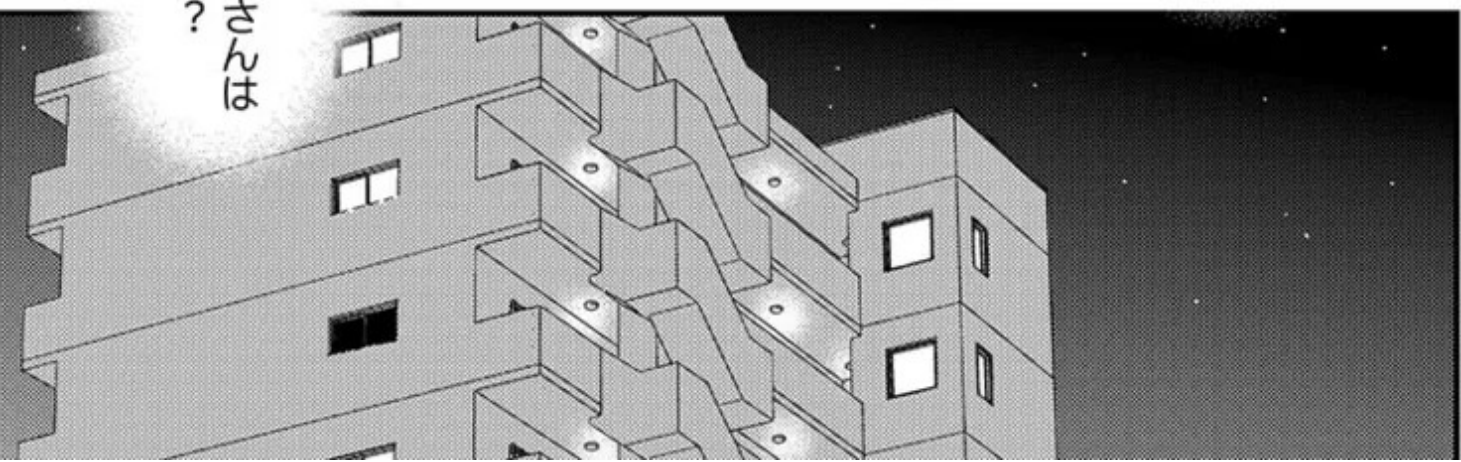
だけど

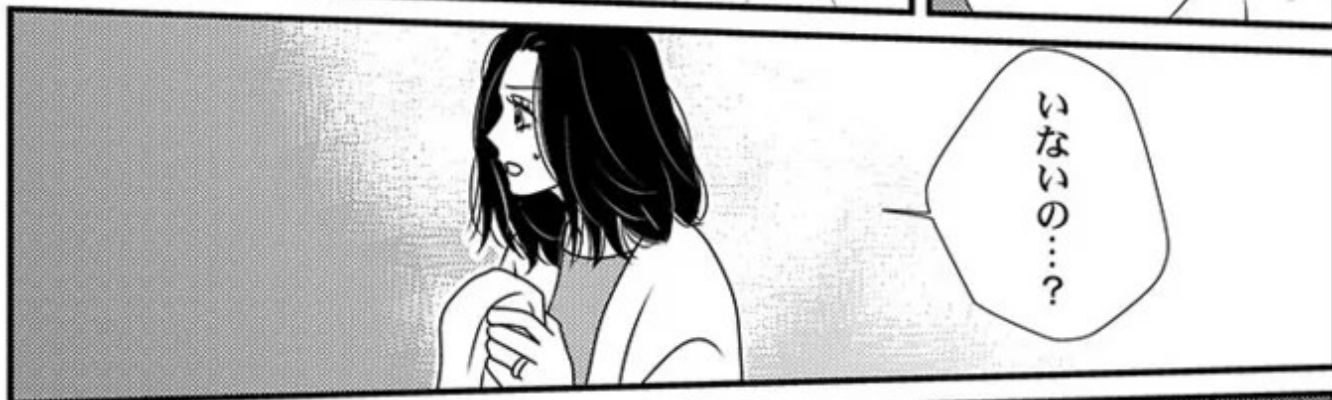
私は
求められた
かな…?

「人として
惹かれたん
です」

清史郎さんは？

清史郎さんは
私を…？







…真琴？



やだ
こんなに
飲んだの？！

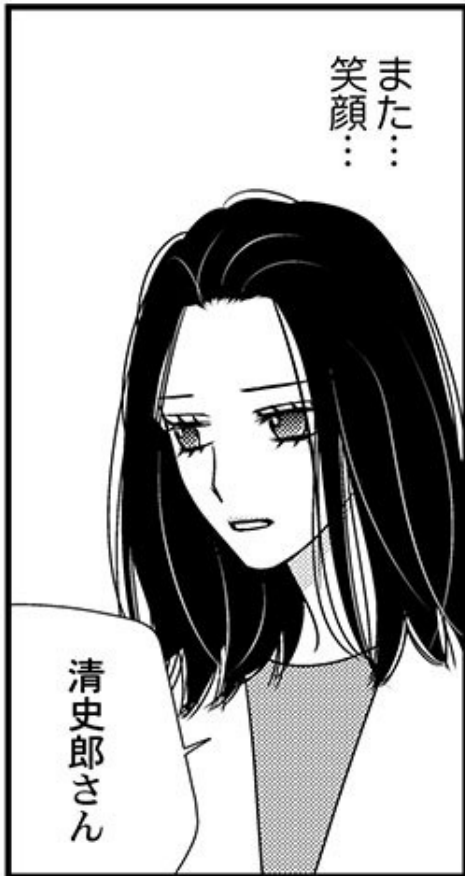
部屋も
荒れてるし

どうしたの？！

あなた
らしくな…

…な
なんで…









…そこは
問題じゃ
ないだろ？

僕といると
君は

あなたが私を
寄せ付けない
ようにする方が

私は
傷つくのよ!!

あなたは
私を
愛して
ないの…？



私…

あなたに
愛される
ために

他の誰かに
抱かれることは
できない





でも…
それでも
私は…
やっぱり…

あなたを
愛してる…



いつも温厚で
優しい笑顔で
本音を
見せないのは

誰かを
傷つけたく
ないからだわ



私は
あなたの

そういう
不器用な
優しさに

惹かれたの…



本当に
別れたいの？
私を
愛してないの…？



お願い
ちゃんと
教えて

あなたの
本心を

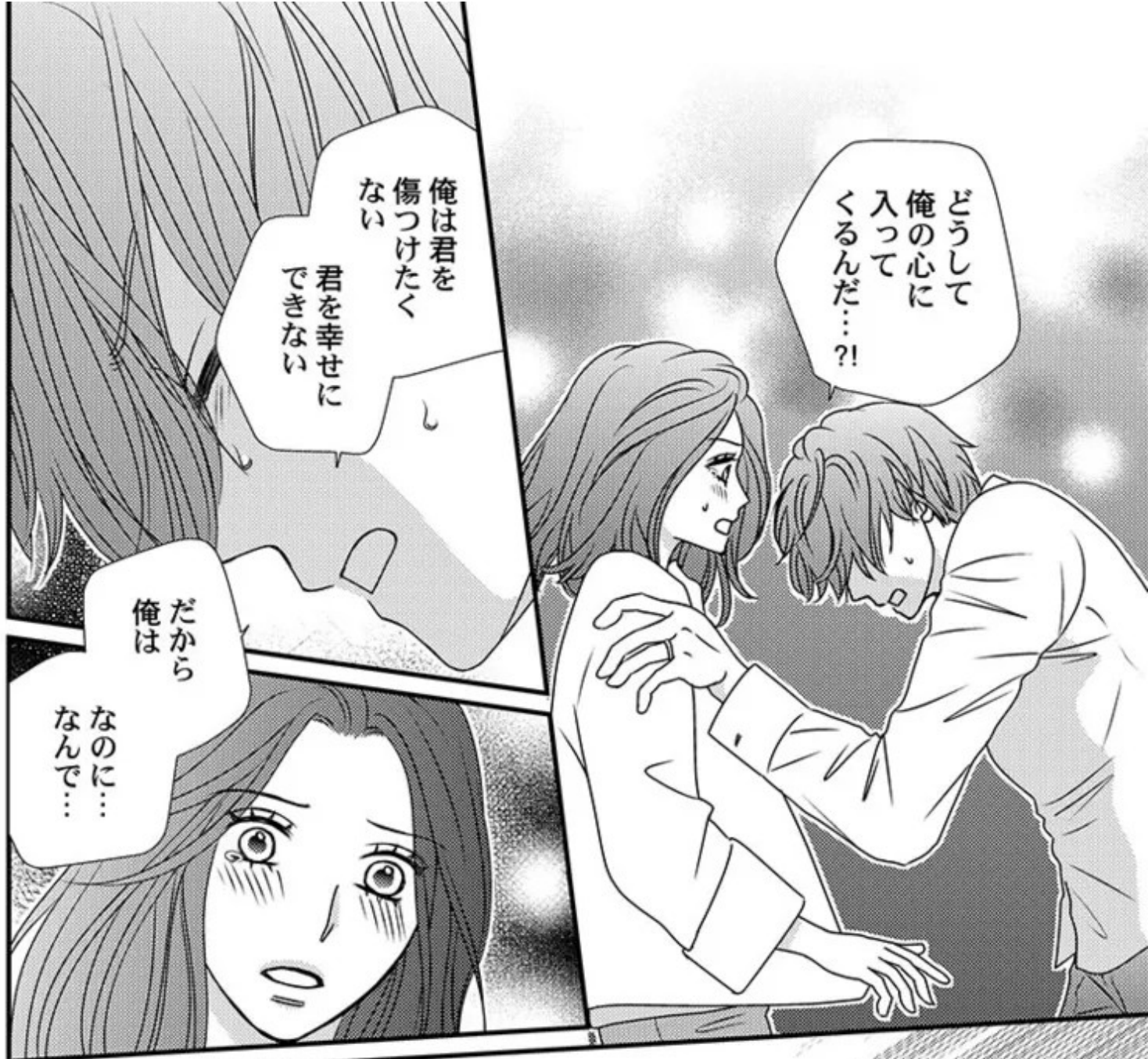


…バカだな
どうして…



見ただろう？！
俺は！！
人をちゃんと
愛せないんだ！！

なのに
どうして
君は…！！





愛してる…

清史郎さ…

彼の愛し方は
歪んでいる

私を
傷つける



すまない…
真琴

すまない…



だけど
私は

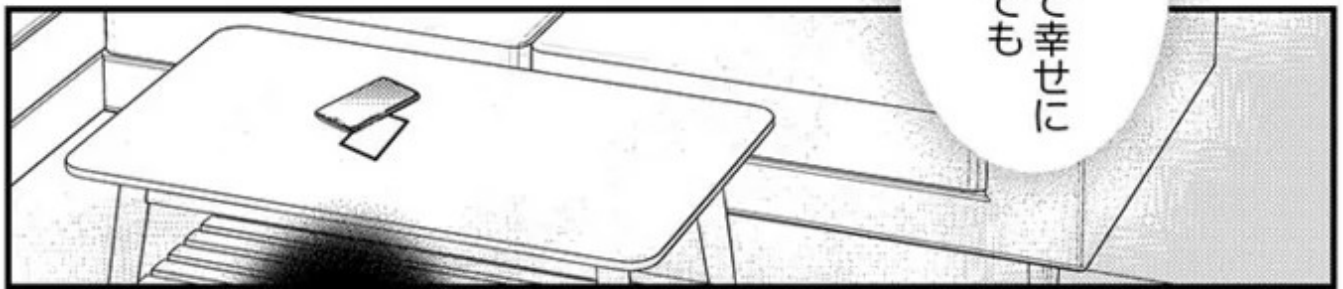
そんな
不器用な
夫を

愛している...



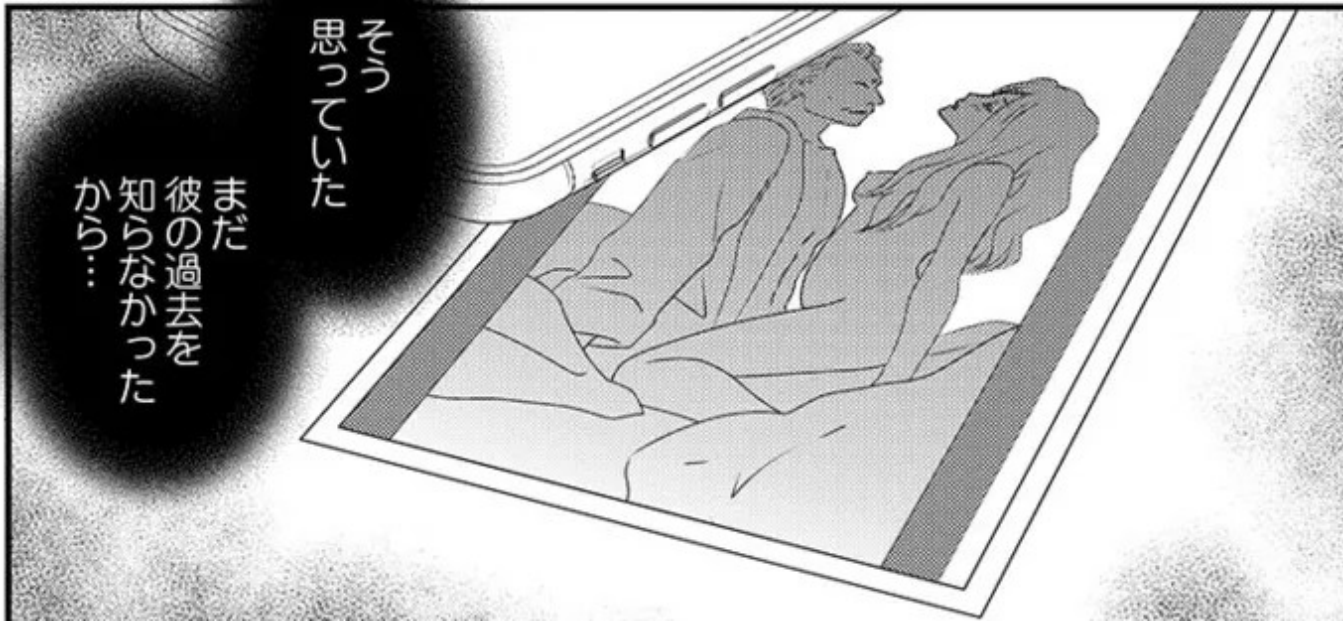
たとえ
あなたと

『女』として幸せに
なれなくても



そう
思っていた

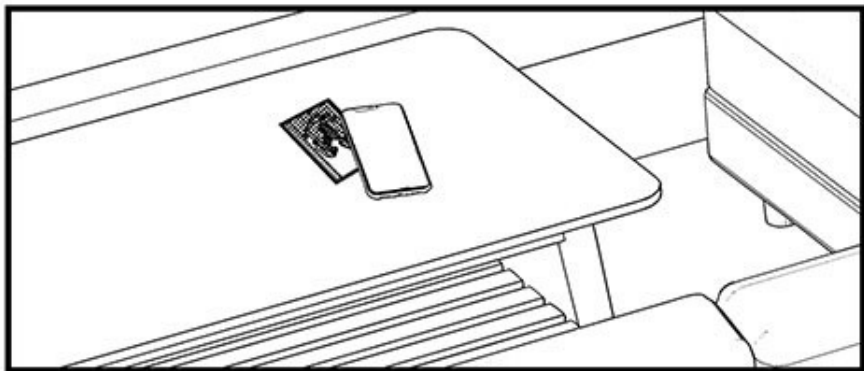
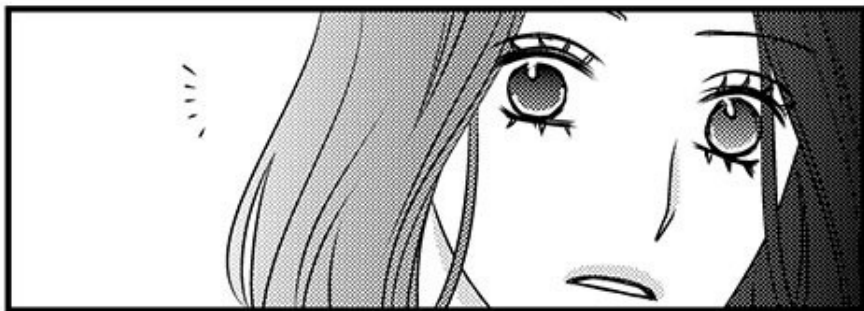
まだ
彼の過去を
知らなかった
から...



僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

第 4 話





写って
いたのは
誰…？

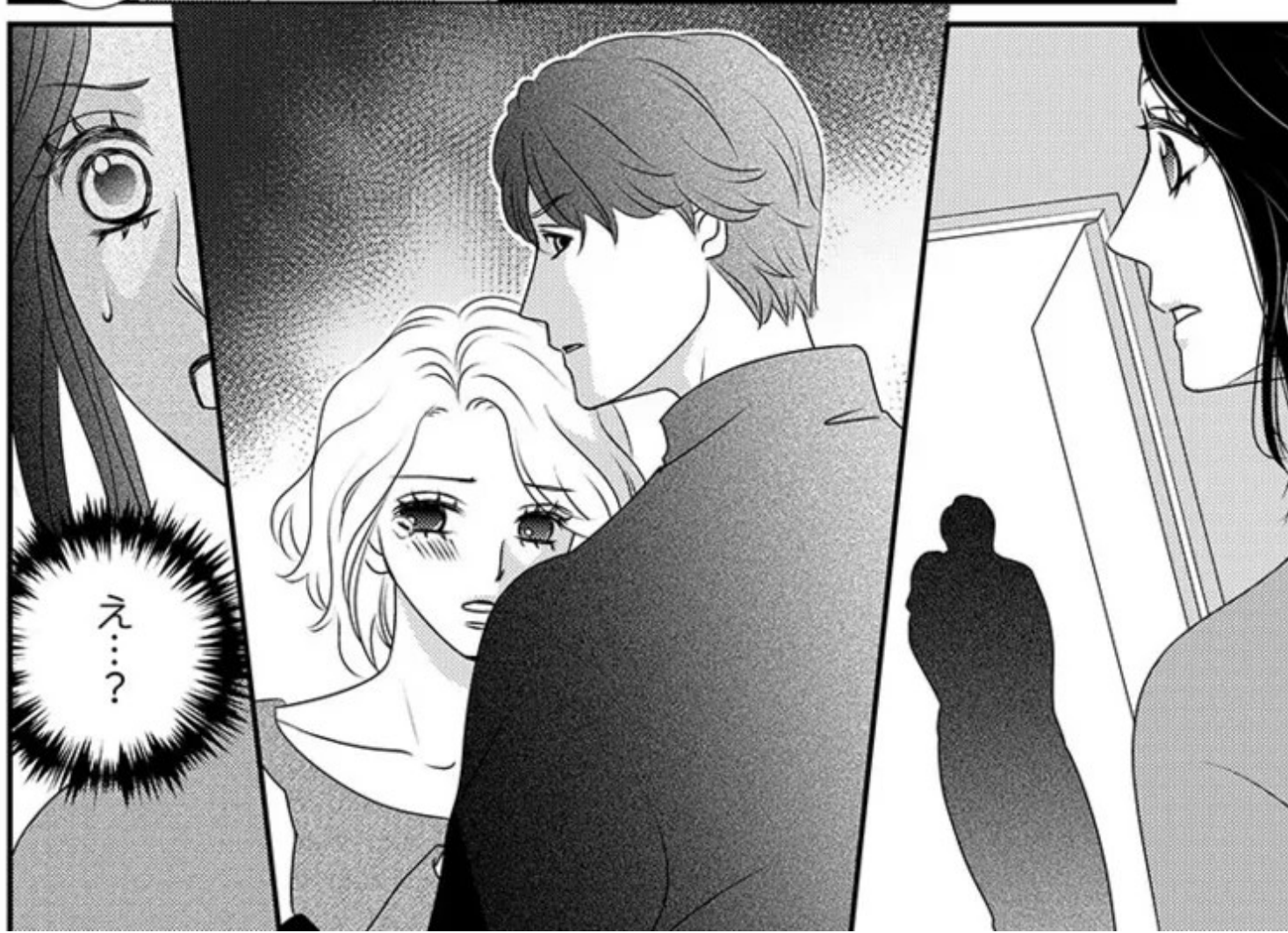


その
数日後

ただいまー

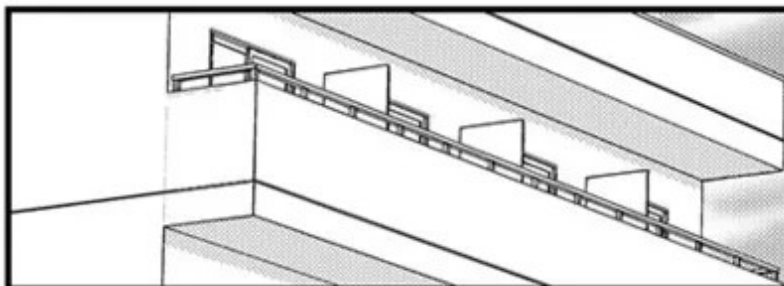
清史郎さん
早めに仕事
終わったから

ワイン買って
来ちゃっ…



え…？







結婚式も
無駄だから
挙げなかつたし

婚姻届も
清史郎さんが
全部揃えて
出して
くれたのよね

あのときは
忙しくて
甘えちゃって



ご両親は
亡くなつてて

一人っ子だから
お墓も処分した
とは聞いた



だから
戸籍も
見てなくて…

…きれいな
人だったな



「いつもより
早かったね」

それって
もしかして

私がいけないとき
を狙って…?

聞いてる?



いったい
誰なん
だろう…?



「遠い
親戚だよ」



今日はすげー
凡ミスばっか

どうしたの？
真琴さん

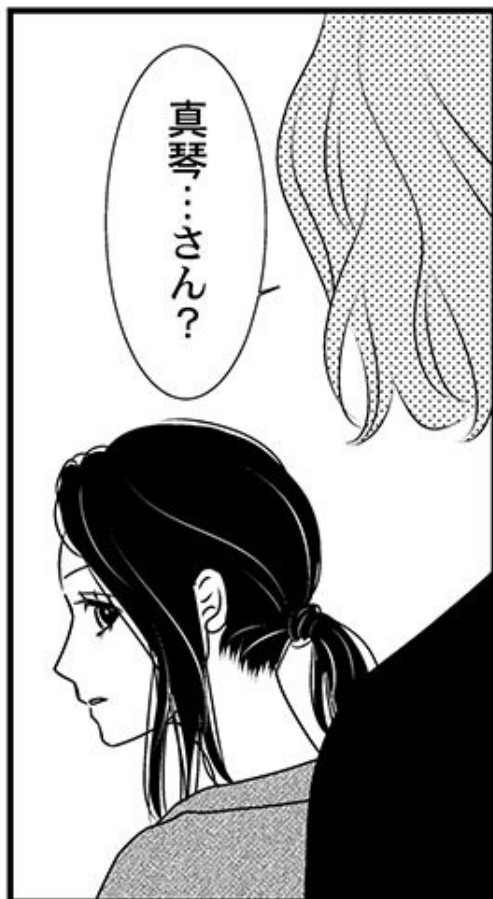


え？
あつ

ああつ!!
ほんとだ!!



う
うん





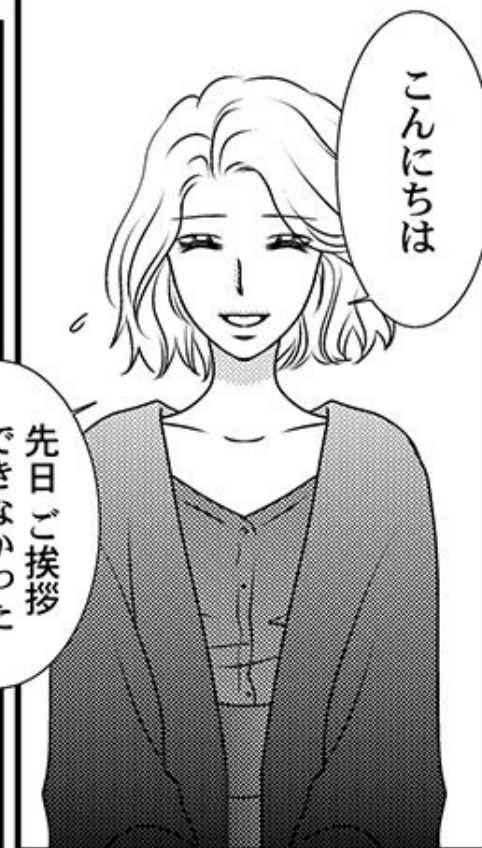
私
井岡 夕美子と
申します

清史郎の
母です



先日ご挨拶
できなかつた
から

少しお話
したいの
だけど



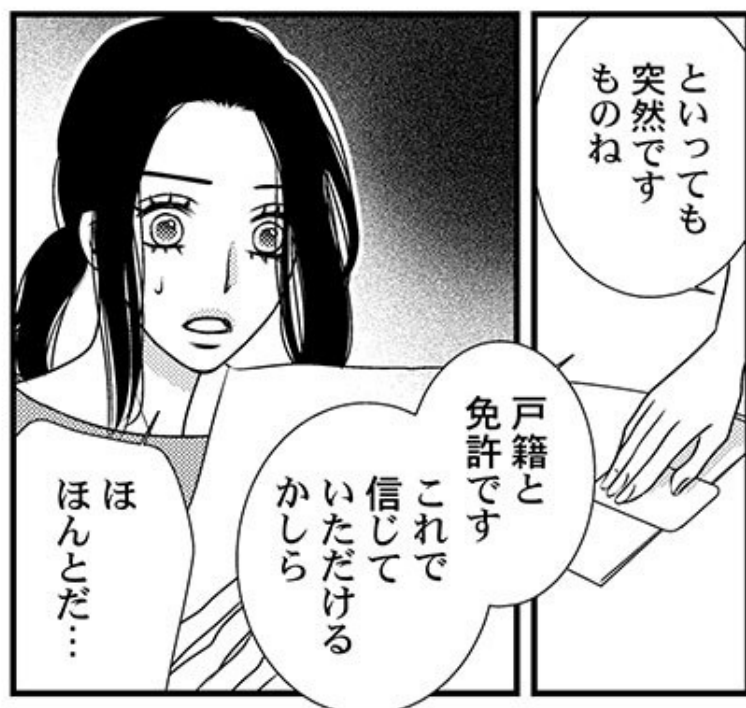
こんにちは



え?!
ご両親は
亡くなつ
たつて…

まあ
そんな
嘘を?

私も主人も
祖母も
おりますよ



といつても
突然です
ものね

戸籍と
免許です

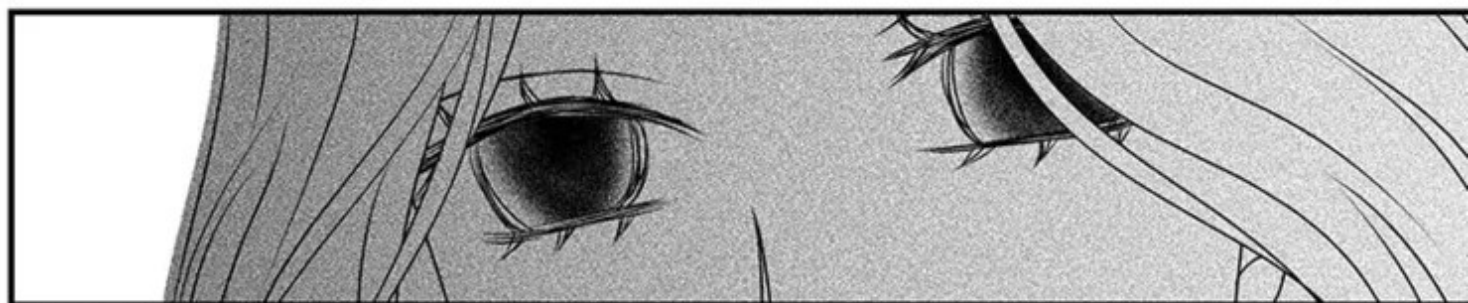
これで
信じて
いただける
かしら

ほんとだ…



正確には後妻…
継母ですけど

主人より
清史郎の方が
歳が近いですし





清史郎には
継ぐ家があるんです

代々続く
事業をやっている...



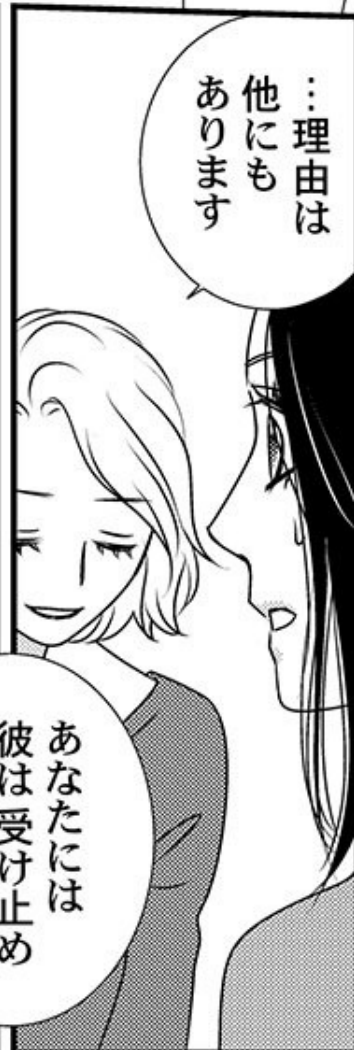
…真琴さん

清史郎と別れて
ください

え?!



あなたには
彼は受け止め
きれないわ



…理由は
他にも
あります

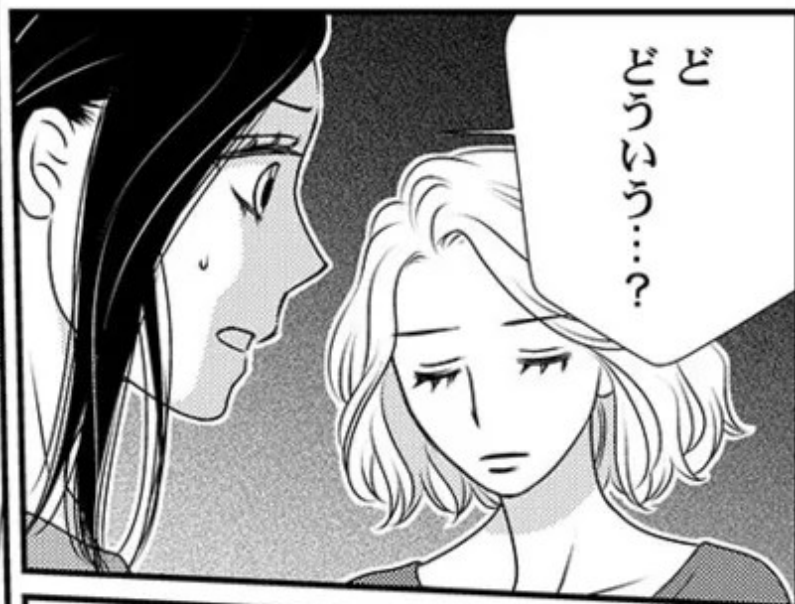


…実は最近
主人の体調が
優れなくて

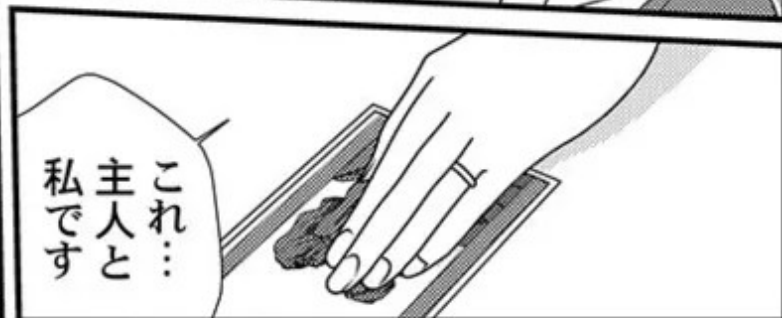
彼に戻って
家を守って
ほしいのです



でも
べつに
別れなく
ても…?



ど
ど
どういじぶ...??



これ：
主人と
私です



.....
!?

彼は：
毎晩わたしたちを
覗いていたの



え?
?!

撮ったのは...
清史郎...



...恥ずかしいの
だけれど

彼は私を
愛しているの

継母である
私を…

な…

彼が
おかしく
なったのは

私のせい
なんです

だから…
異常な
彼の愛を

どどういう
ことですか?!

ちよつと
さつきから

全然
わからないん
ですけど

受け止めて
あげられるのは
私しか
いないんです…

彼の
愛を…

何を言っ
てるんですか?

いったい
どうやって?

あなた
彼の母親…

…そのまま
ですわ

私
彼が家を
出てから
ずっと
後悔して
いたんです

家を
護るために
必要なら

全て
受け止めるのが
私の役目

受け止めるべき
だったの

あのとき
清史郎の
愛も

だから…

私を…
彼のものに
してあげたい

え…?!



あ…えつと
その



う浦川
くん

なかなか
帰ってこないと
思ったら
知り合い？



真琴さん？



…また
来ますわ



清史郎さんに
家族がいた？!

彼の
愛しかたが
異常なのは

継母を
愛してるから?!

だから
離婚しろだ
なんて…?!



いったい
どういう
ことなの?!

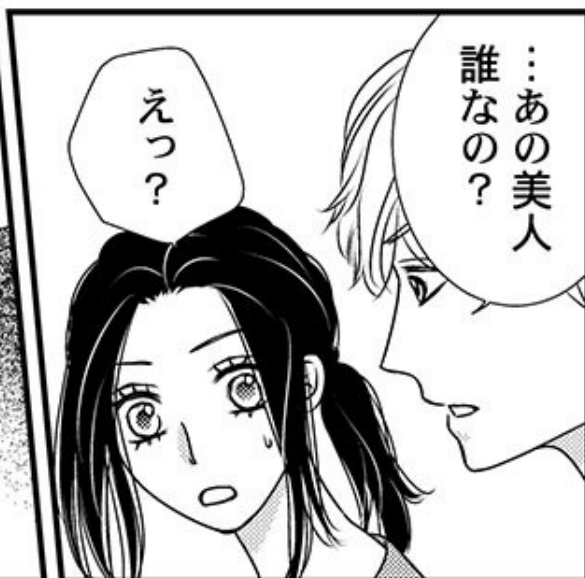


真琴さん



…うん
いや…

なんでもない

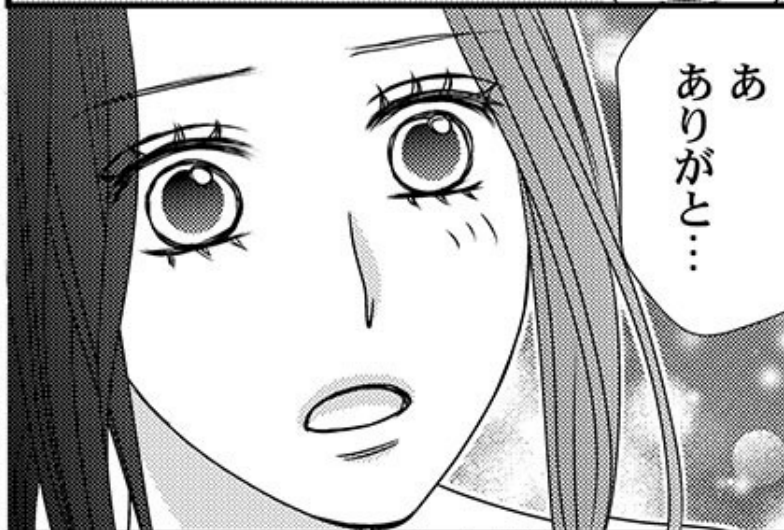


…あの美人
誰なの？

えっ？



また何か
隠してるね



あ
ありがと…



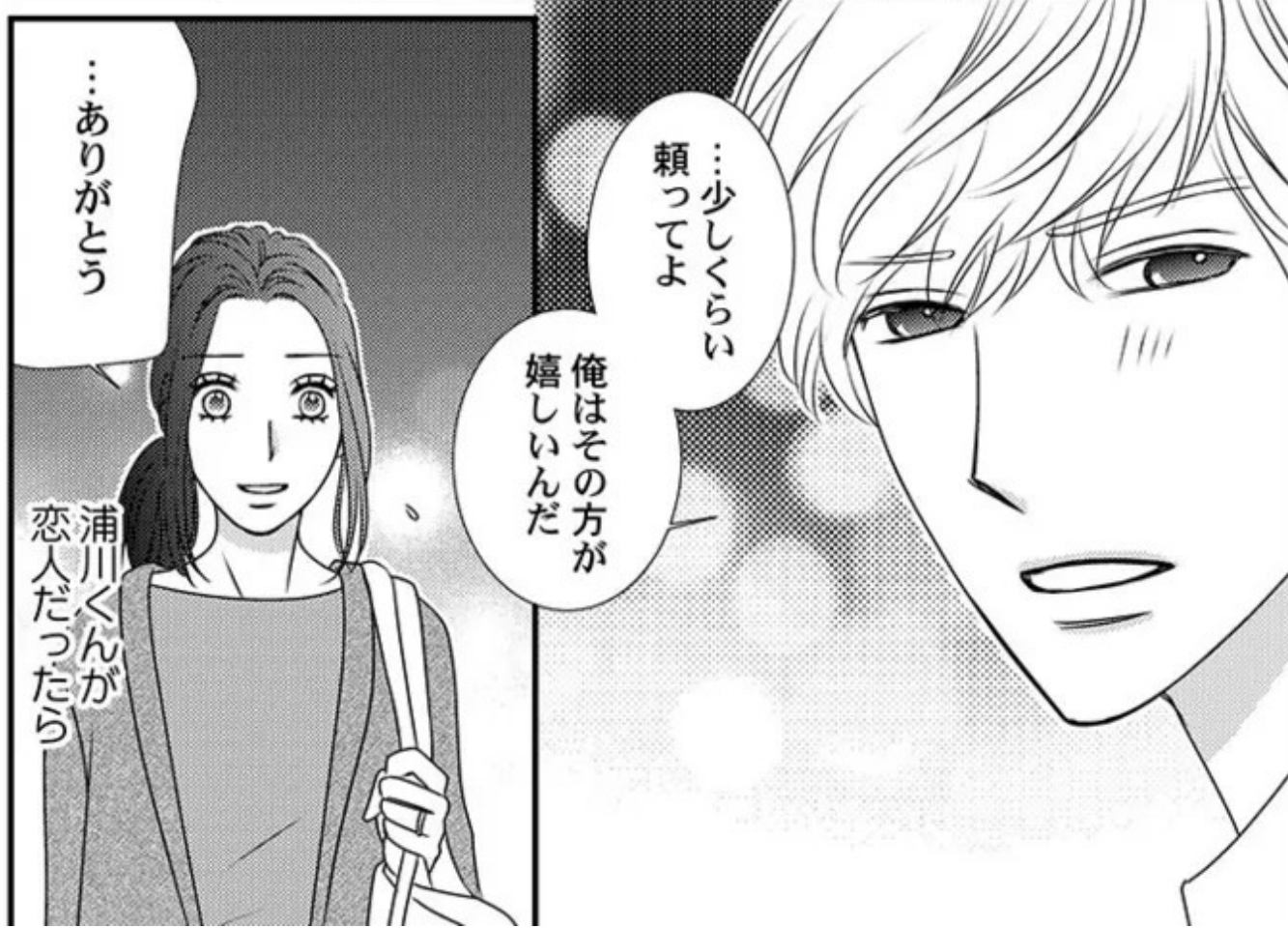
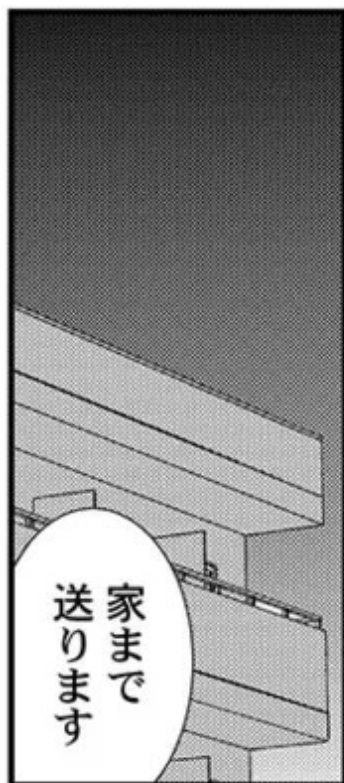
言いたく
ないなら
言わなくて
いいけど

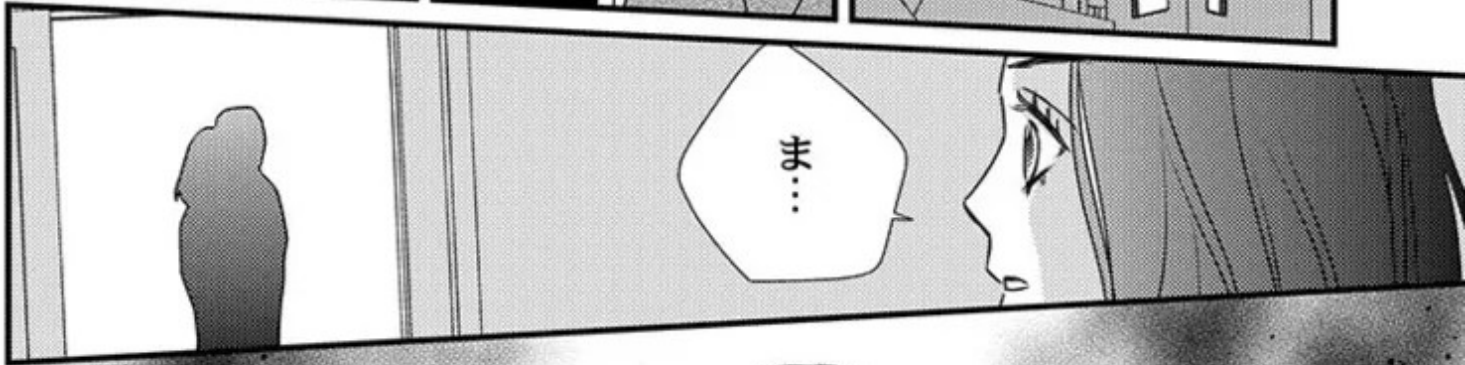
困ったら
いつでも
頼ってよ



ごめんね
仕事に
戻…

もう少し
いようぜ







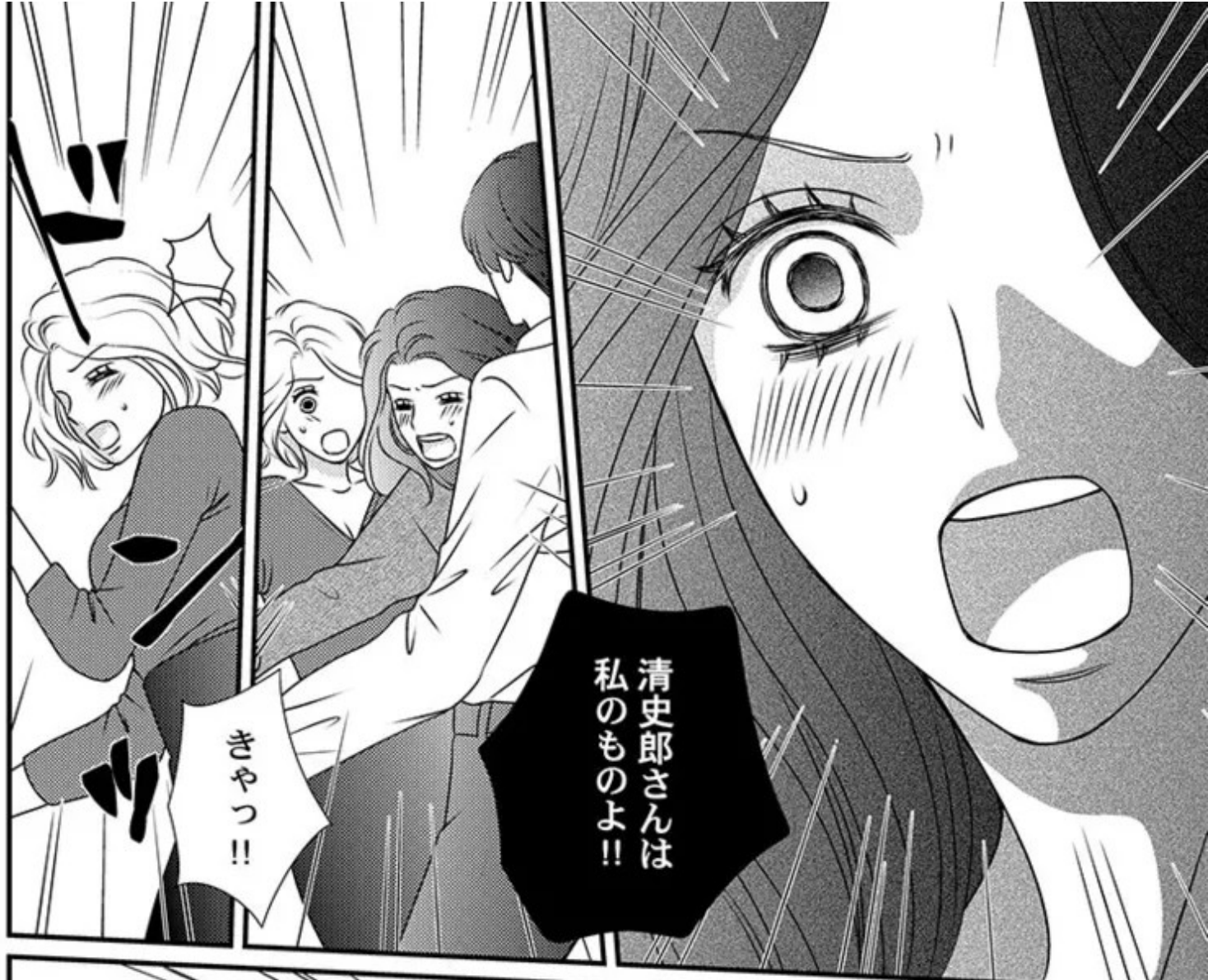
え…?!



真…

…しの
ものよ…





清史郎さんは
私のものよ!!

きゃっ!!



ねえ
そうでしょう?!

真琴
聞いてくれ
これは

清史郎さん?!

真琴

頼むから
話を

ねえ?!

ねえっ!!



『だんご』





これは

「アァンアァン」…



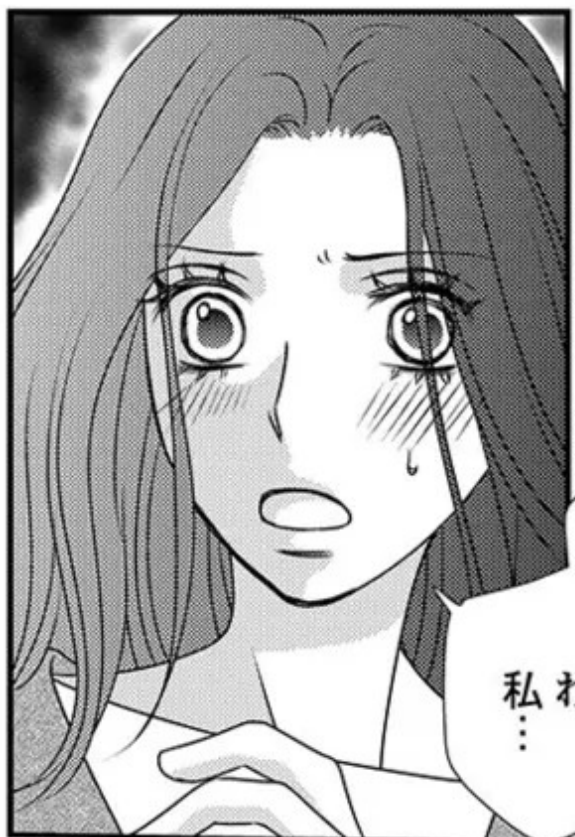
『君は俺のものだ』



この感情は

清史郎さんの…
愛し…方…？



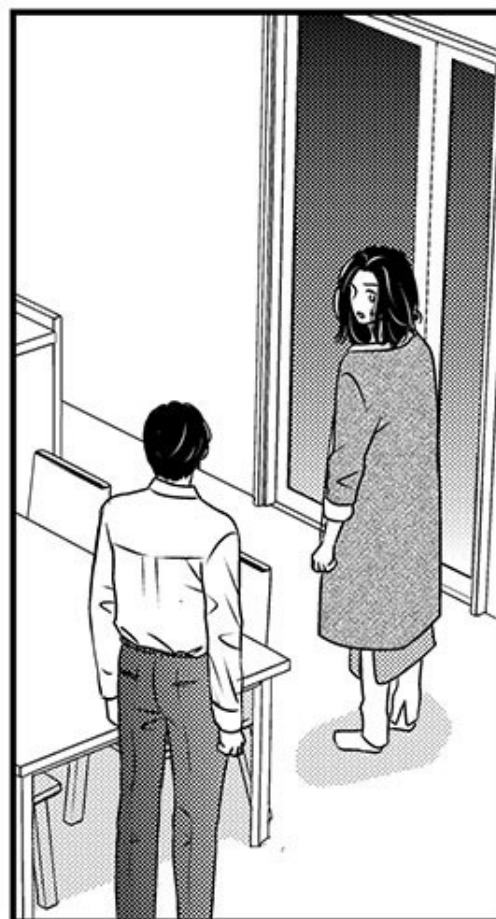


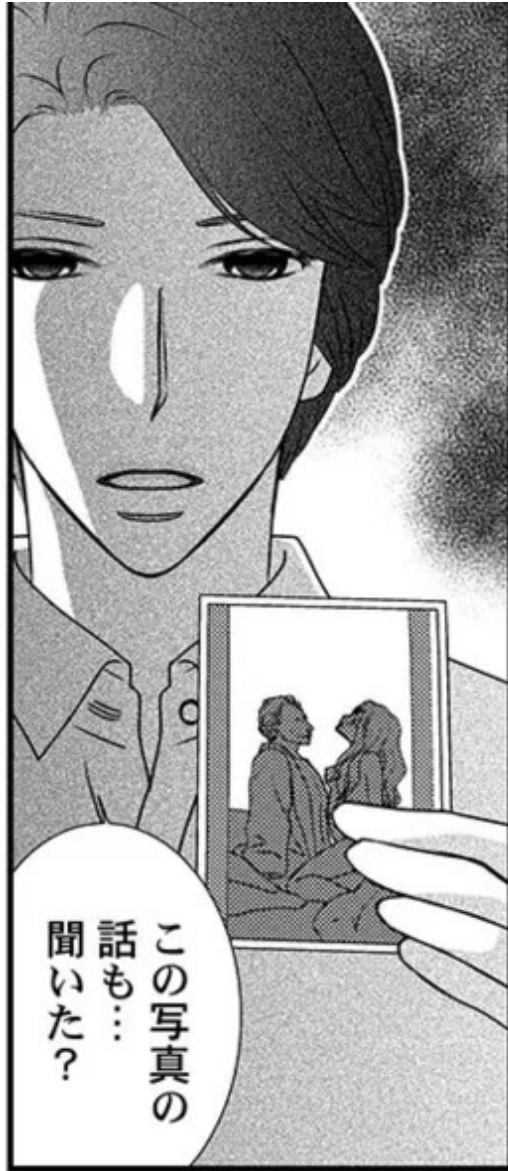
夕美子さん

でも私は
本当に…

今日は突然
ごめんなさい

…清史郎くん





この写真の
話も…
聞いた？



愛して…
るって…

あなたは…
彼女を…



…あの人は
継母で…

あなたに
家を継いで
ほしいと…



そうか…



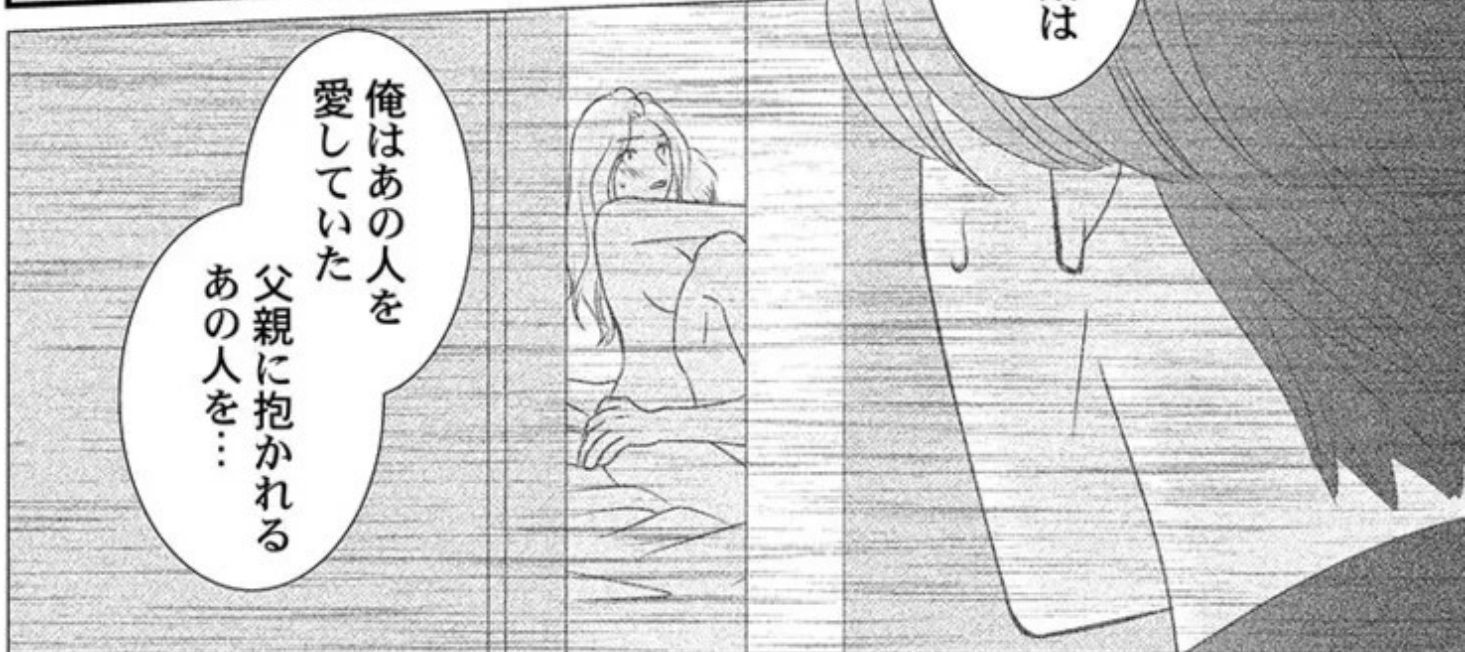


あの人の話は
本当なの？

彼女を…
愛してるの…?!



…隠していて
すまなかった
彼女の話は
本当だ




俺はあの人を
愛していた
父親に抱かれる
あの人を…

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情


僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

第 5 話



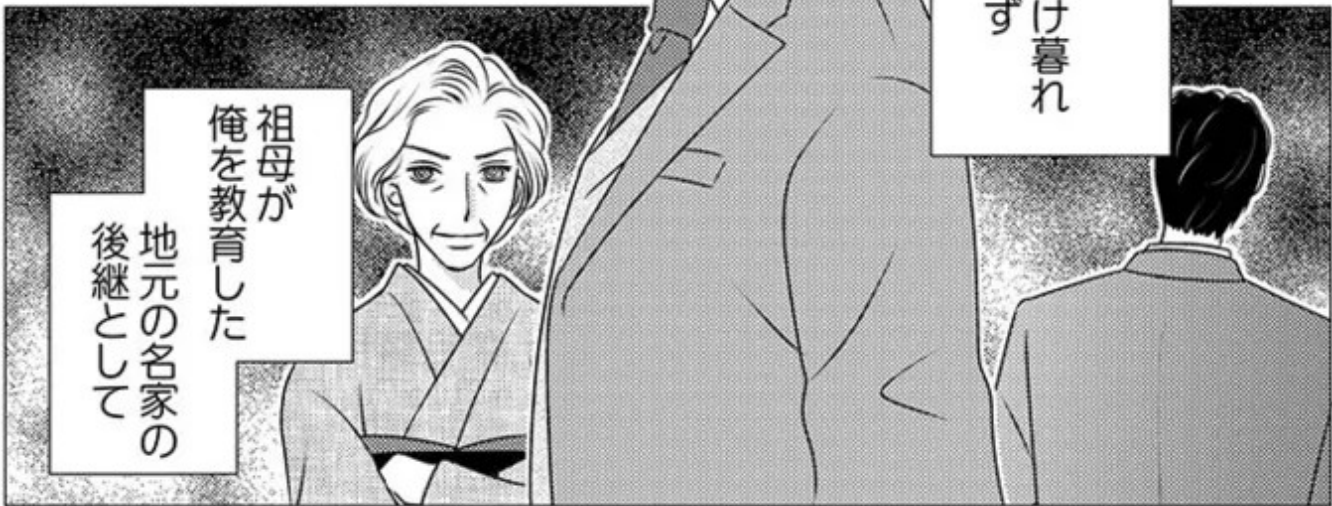
俺はあの人を
愛していた

父親に抱かれる
あの人を！



母は俺を
産むと同時に
死んだ

父は
仕事に明け暮れ
家に戻らず



祖母が
俺を教育した

地元の名家の
後継として

愛のない
家庭にある日

彼女が
やってきた…

つきしま
月島夕美子と
申します

今日から
住み込みの
家政婦として…

…また
ですか？
お祖母さん

さとえ
聡江さんと
呼びなさい！

我が家には
家のことを
してくれる

お母さんが
必要でしょ…？

父は祖母の反対
を押し切り
母と結婚した

だから後妻も
取ろうと
しなかった

体裁を
気にした
祖母が

見合いがわりに
手頃な女を

たびたび秘書や
家政婦に
したけれど

父が
受け入れる
はずもなく…

お夕食
お持ち
しました

夜食？
頼んで
ないけど

お夕食
お食べになって
ませんよね



ああ…
そうでしたっけ

お勉強
おつかれ
さまです

来年受験
ですものね

煮物の残り
で和風ポタージュ
作りしました

これなら
いただき
やすい
かなって

…財産が
欲しいんですか？



え？



私は本当に
雄一郎ゆういちろうさんを…

お父様を
お慕いして
いるのです

…一方的に
ですけれど



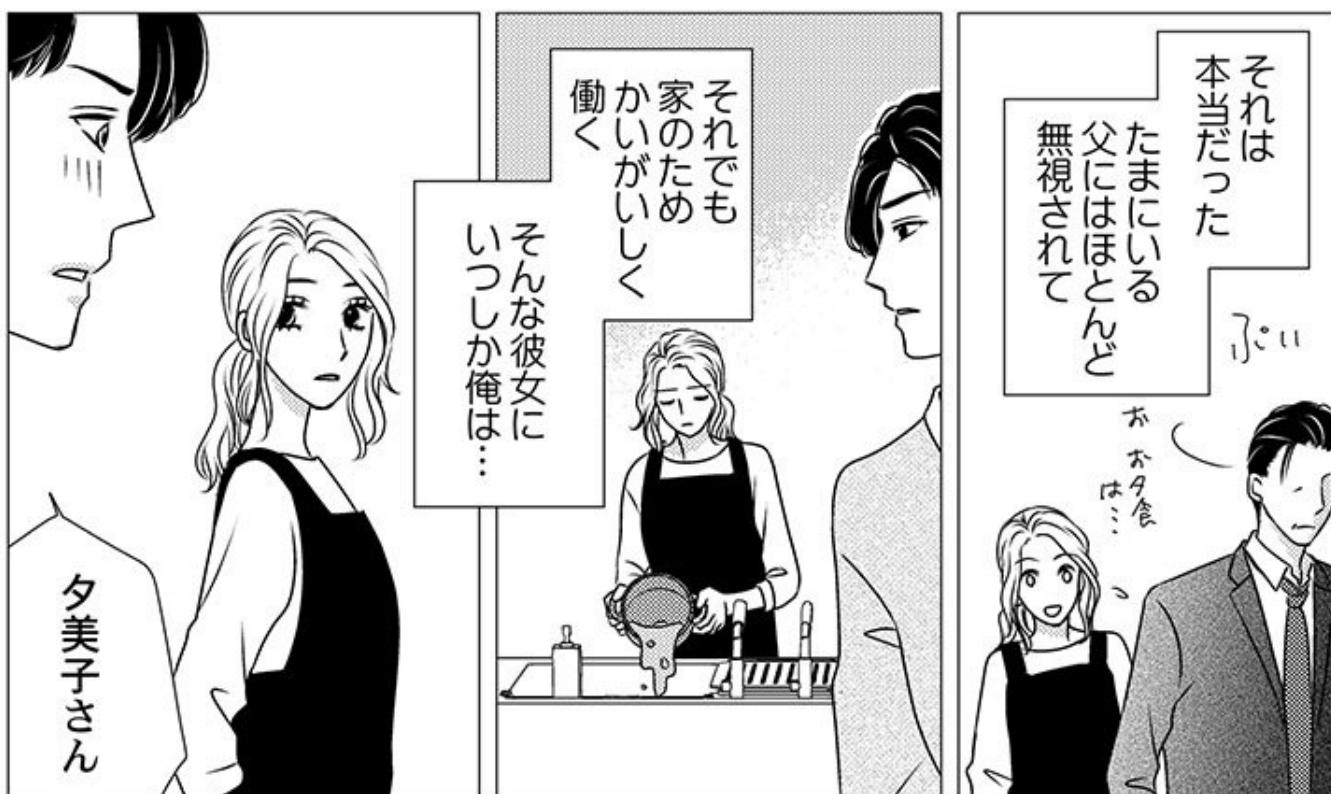
…とんでも
ない



父は家に
めったに
いないし
死んだ母
以外の人間には
興味がない

口うるさい
祖母もまだまだ
死にそうにないし

金があっても
楽な暮らしじゃ
ないと思います
が…





俺なら
幸せにします
だから…



せ
清史郎くん？

俺なら



俺…
夕美子さんの
ことが
好きです



…おい

何
やって
るんだ



あだ
旦那様





…俺の妻に
してやろう

だ
旦那様!?

え!?

どうした?
嬉しくないのか?
俺の妻に
なりたかったん
だろ…?



え…!?





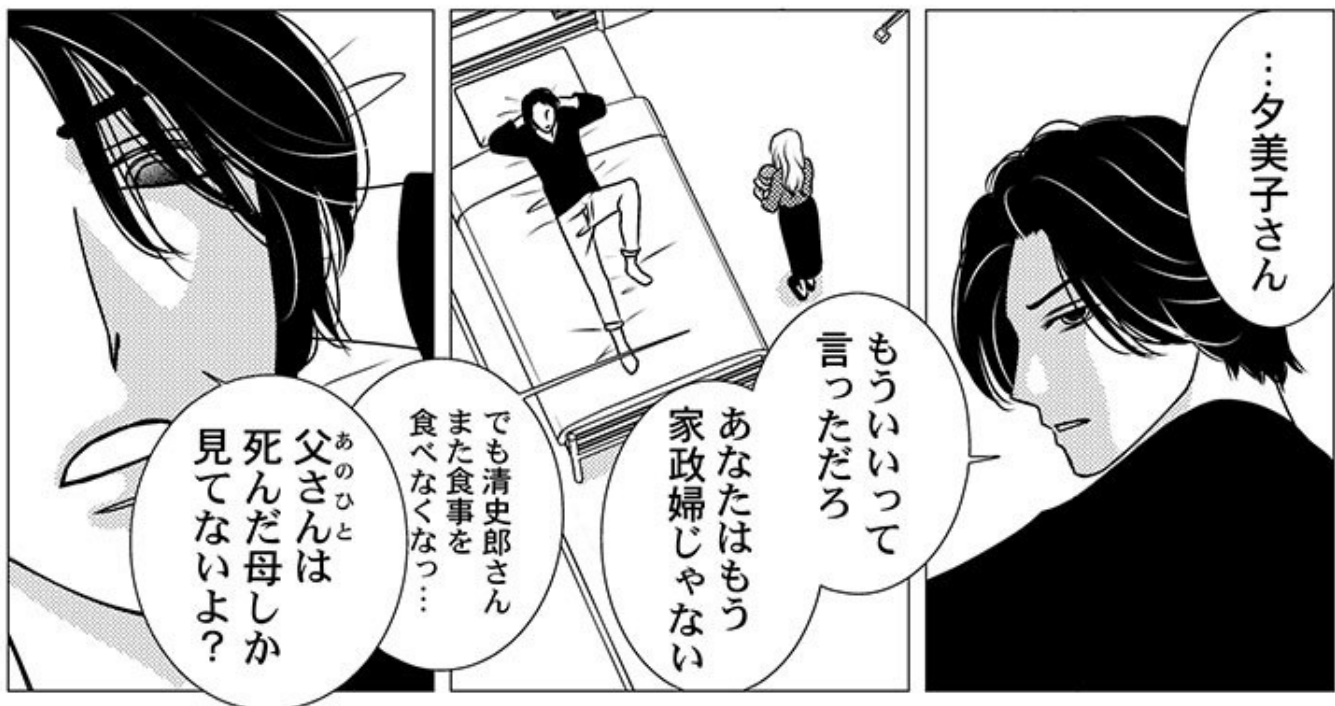
：俺は父に
憎まれて
いたんだ
愛する女を
奪った
存在として

だから父は
夕美子さんを
妻にした

俺が愛する女を
俺から奪う
ためだけに



清史郎さん
お夜食よ



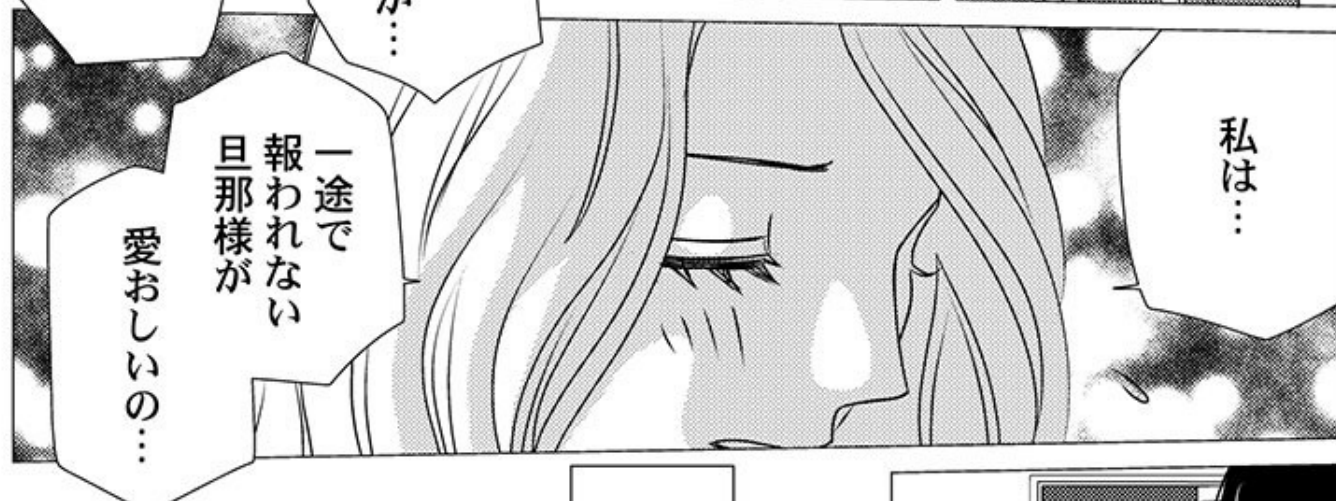
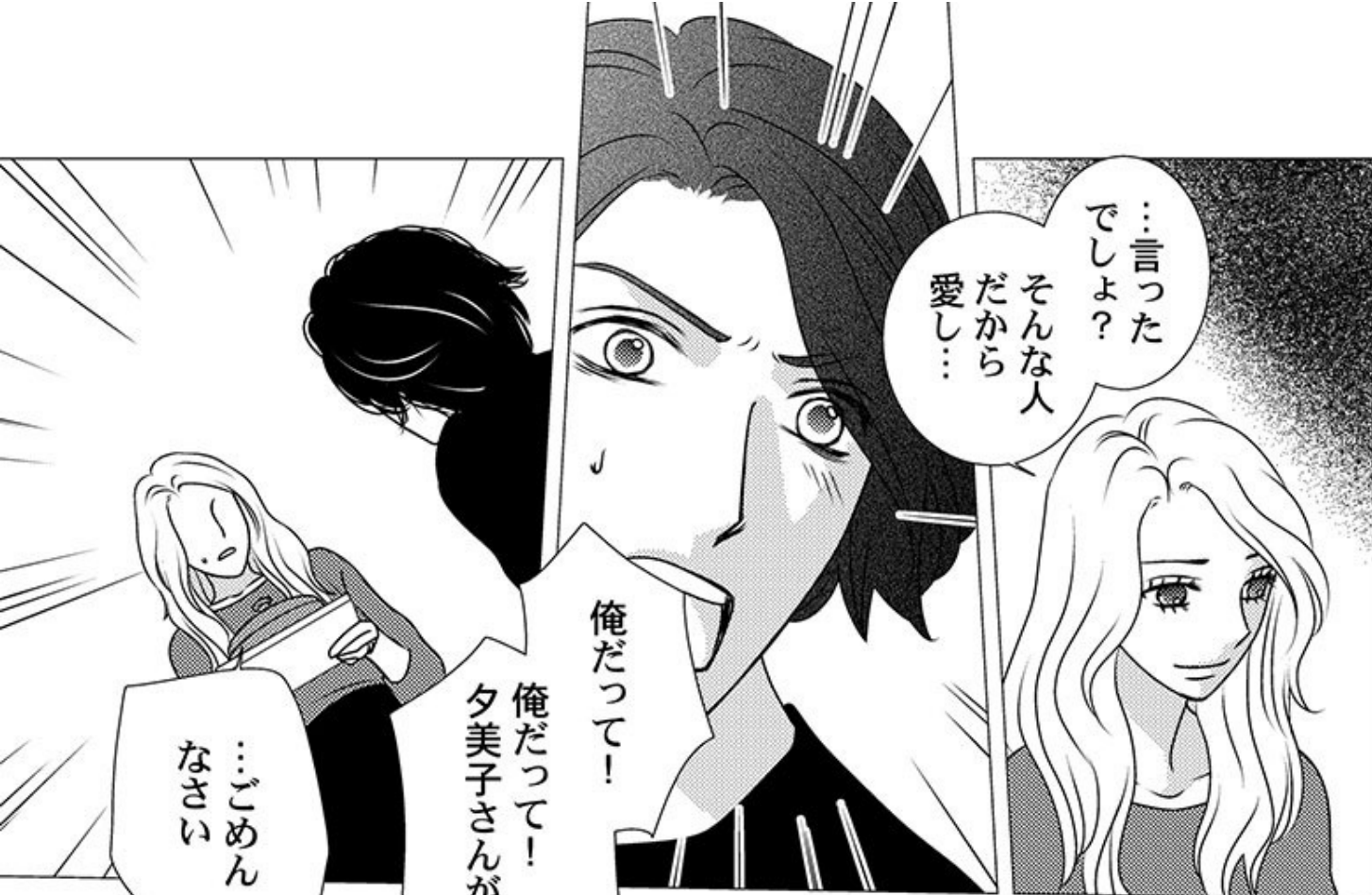
：夕美子さん

もういいって
言っただろ

あなたはもう
家政婦じゃない

でも清史郎さん
また食事を
食べなくなっ…

あのひと
父さんは
死んだ母しか
見てないよ？



夕美子さんを
抱くために

だ
旦那…さまっ

だ…だめっ
まだまだ
清史郎くんが
起きて…

いいじゃ
ないか
聞かせて
やればいい…

俺から
彼女を
奪うため
だけに…

見ちゃ
ダメだ

ダメなのに…

はあ…





夕美子さんを
傷つけるな!!

やめろお!!



愛してる…!!

俺の方が
ずっと

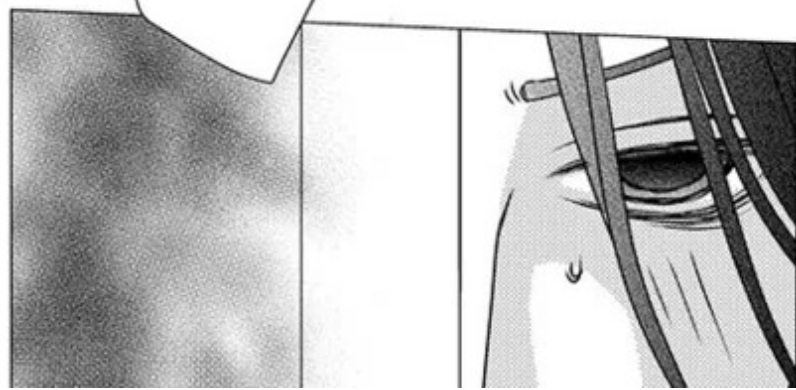


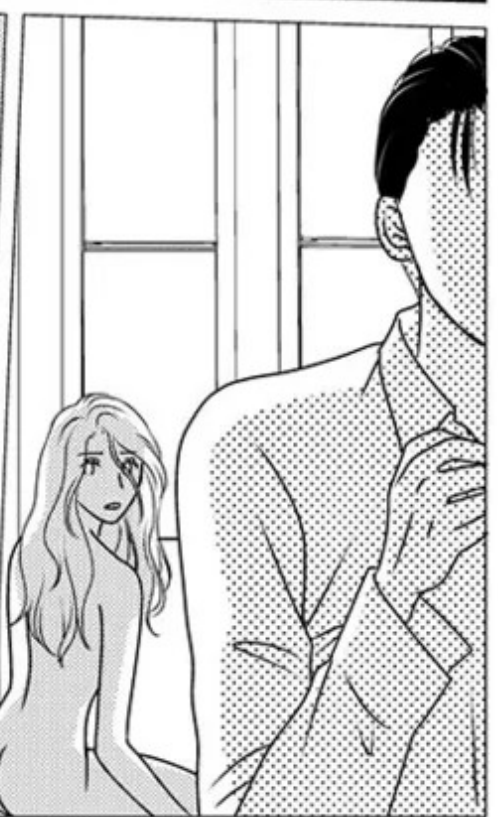
愛してるんだ

夕美子さん…!!

俺は…父から
夕美子さんを
奪う…

…妄想をする
しかなかった…



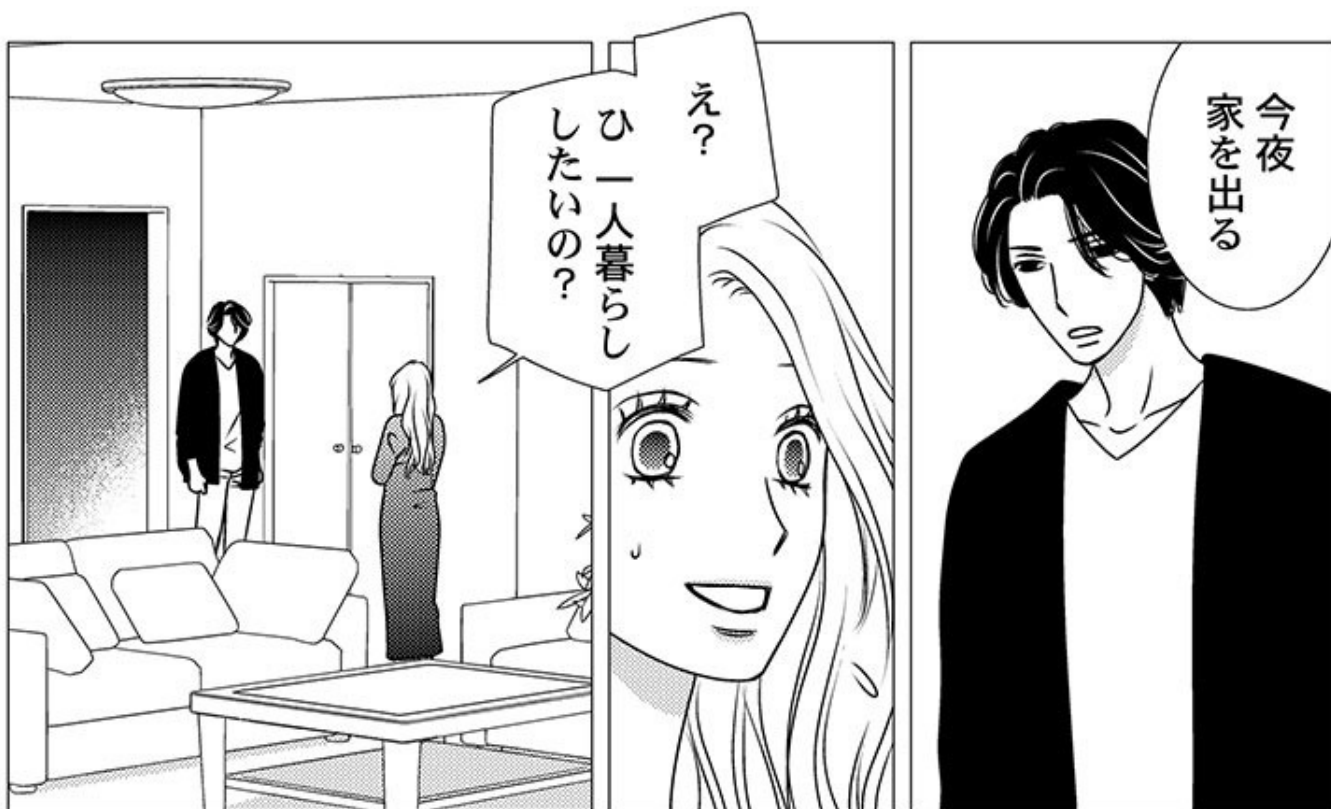




このままじゃ

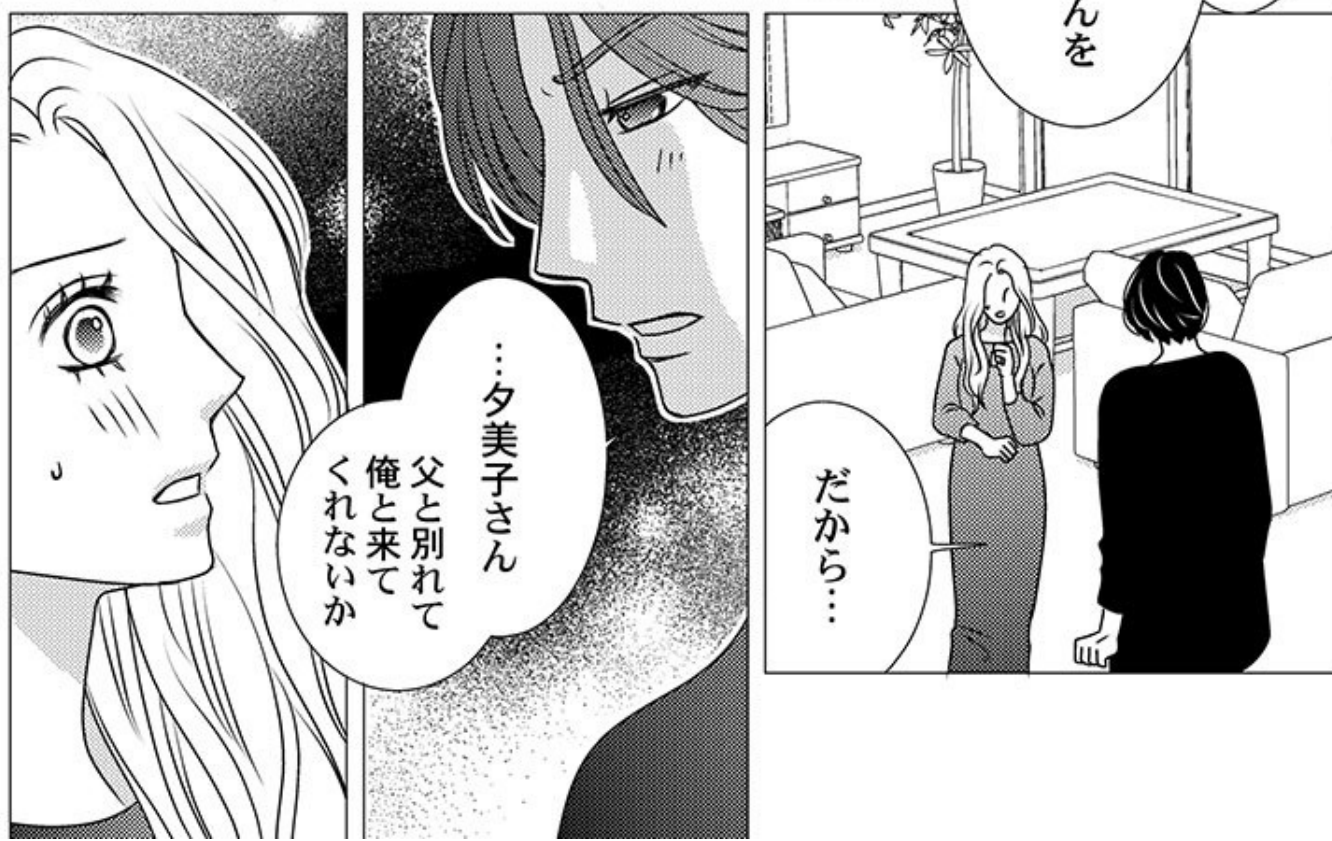
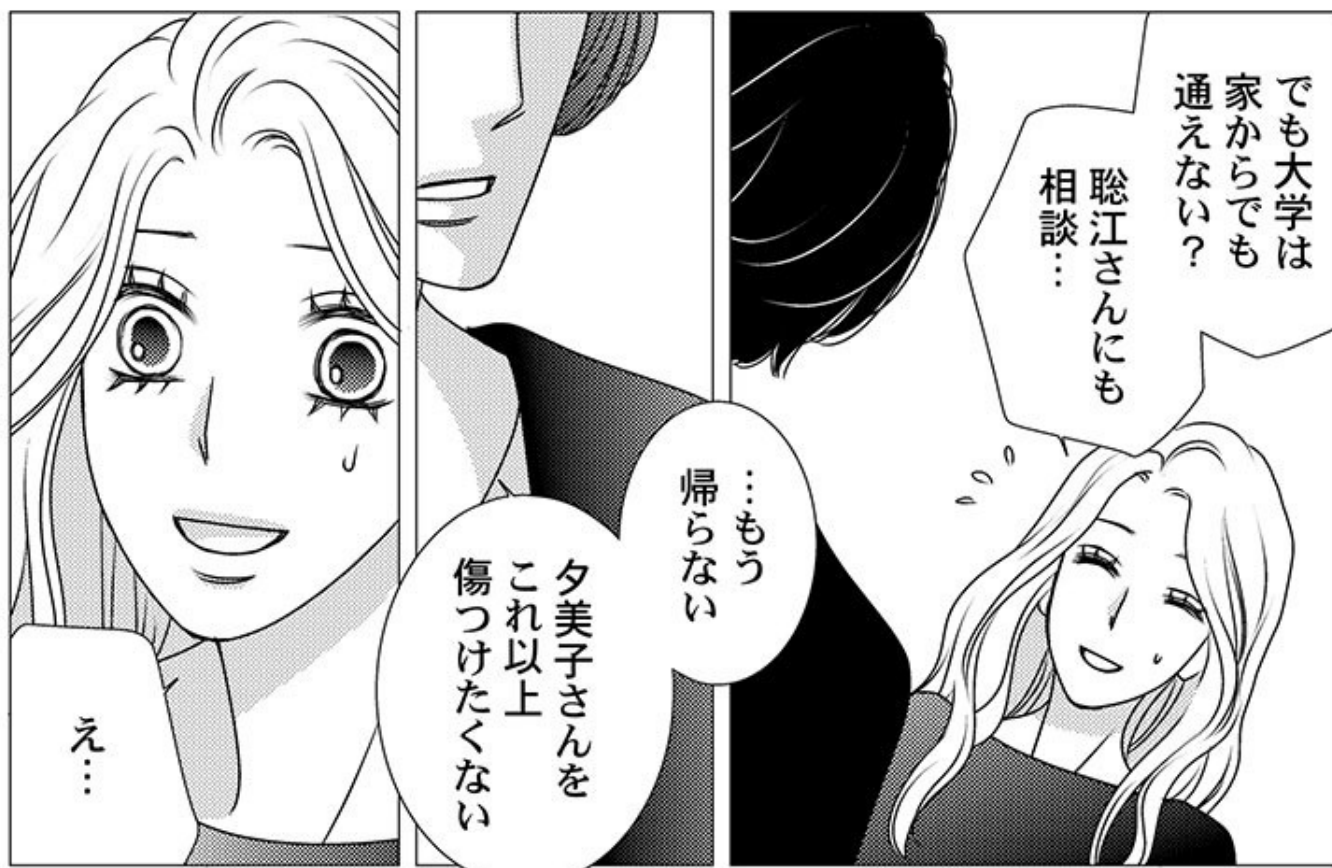


俺たちは…



え？
ひ一人暮らし
したいの？

今夜
家を出る





だから
行けない…

あなたも…
旦那様も
大事なの

ごめんなさい



せ
清史郎く

俺なら絶対
幸せにする

だから



…どうして…



どうして
わかって
くれないんだ！

きゅあー！



俺なら！

俺なら
傷つけないのに！

やめて
清史郎くん

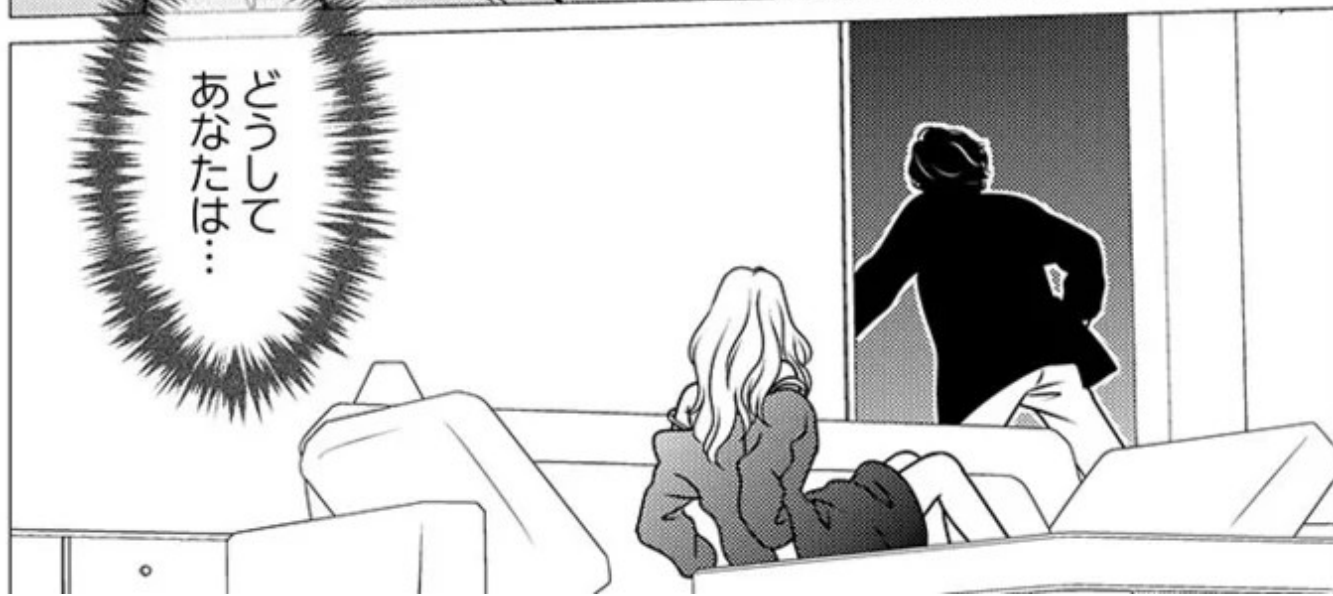
やめ…



愛して
やれるのに…！！



…っ



清史郎くんっ

それ以来

俺は
狂ってしまった

愛する人が

奪われないと



欲情
しないんだ…



でも
それって

本当に愛して
いるのかな？



だって
そうだろう？

他の男の
ものに
ならないと
欲しいと
思えない
なんて

たとえ
それで

君を
傷つけても…





自信がないんだ

君を愛しているのか

ただ奪い返したいだけなのか

俺にはわからないんだ…

すまない…









?
浦川く…



もう
大丈夫だから…

…送ってくれて
ありがとう



だから
もう
ひとりで
泣かないで…



もう嘘を
つかないで
俺が
守ってあげる



!?



あ…っ

ぽろっ



清史郎さん…



ただ素直に

求められ
たかった



こんな風に
愛されたかった

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情

第 6 話



だけど…

…ごめん…



こんな風に
愛されたかった

ただ素直に
求められたかった



俺が
守ってあげる

だから
もう
泣かないで…



…どうして

どうしてわかって
くれないんだ…!!



ごめん…



俺なら…

幸せにして
やれるのに…



ただ
誰かを
愛してる
だけなのに

傷つけあって
ばかり…

まだ
傷つけて
しまった



預けておいた
離婚届だけど
出しておいて
くれないか

すまなかった

『預けておいた
離婚届だけど』

出しておいて
くれないか』



ひとり
生きていこう

誰かを
傷つけるの
なら



離婚届

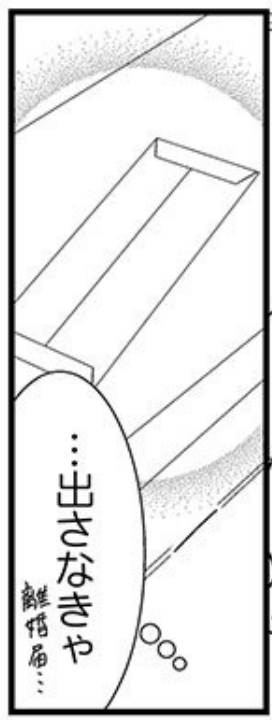
伊同 清太郎

伊同 真琴

『すまなかった』
『さよなら』



誰も
愛さないほうが…



…出さなきゃ
離婚届…



思いつつ
1週間も
経って
しまった

今日はもう
疲れたし
明日…



…バカだな

こんなもの
大事に
持ってた
ところで

自信が
ないんだ

君を
愛して
いるのか

清史郎さんが
私を求めて
いないのは
かわらない

私はもう
愛されて
いない…

離婚届







もし彼が
愛してくれて
いたとしても

私を求めて
くれなければ

彼のそばには
いられない



浦川くん

この間は
ごめんなさい



でも
早くない？

納期は
来月末まで…

これで
俺とやってる
仕事

1回全部
終わるよね？



B社の案件
明日までには
できるんで
送ります

え？あ
ありがとう



いや…
俺こそ

電話しよう
と思ってたんだ

ちよっと
時間を
くれませんか

え…

俺…
あいつが
真琴さんを
幸せに
しないから

奪って
幸せに
したかった

だけど
真琴さんは

俺を
求めてない

俺が
奪えるもの
なんて

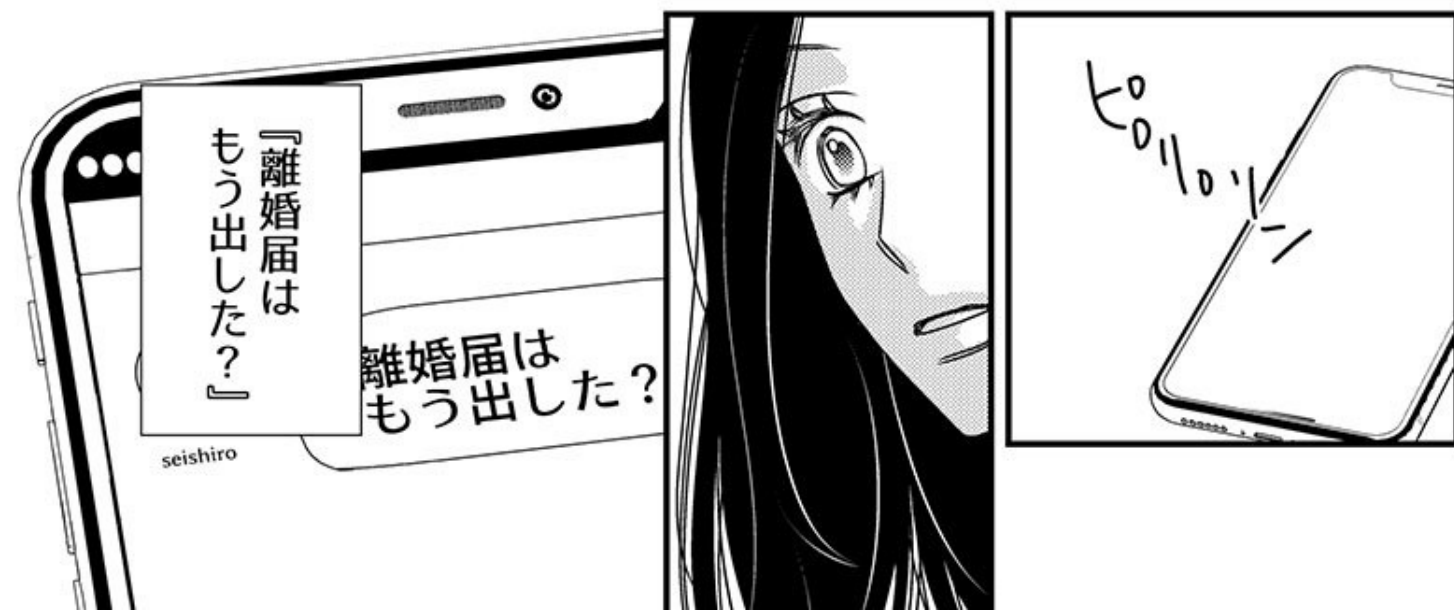
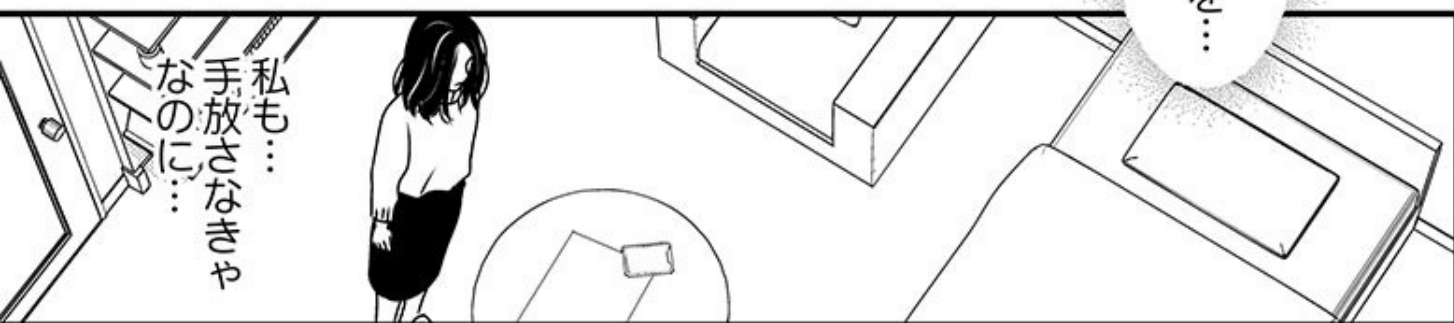
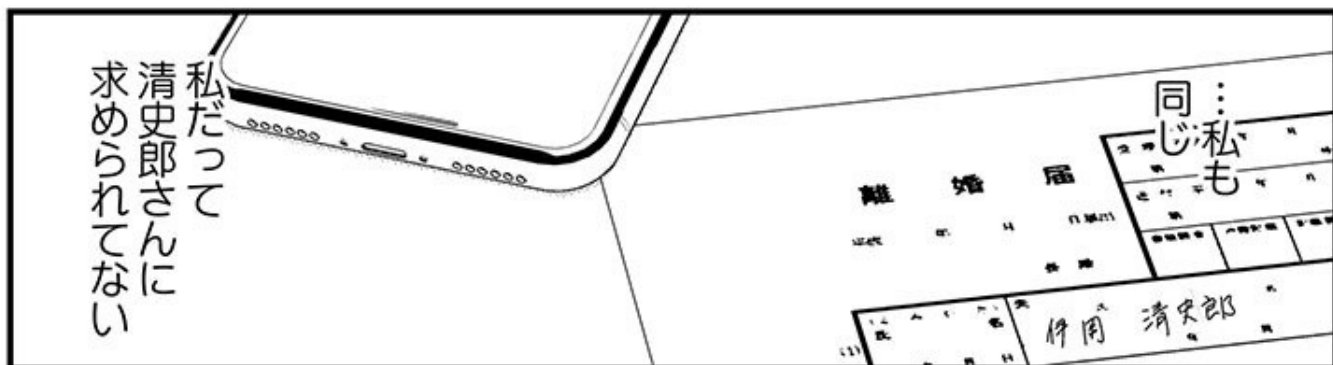
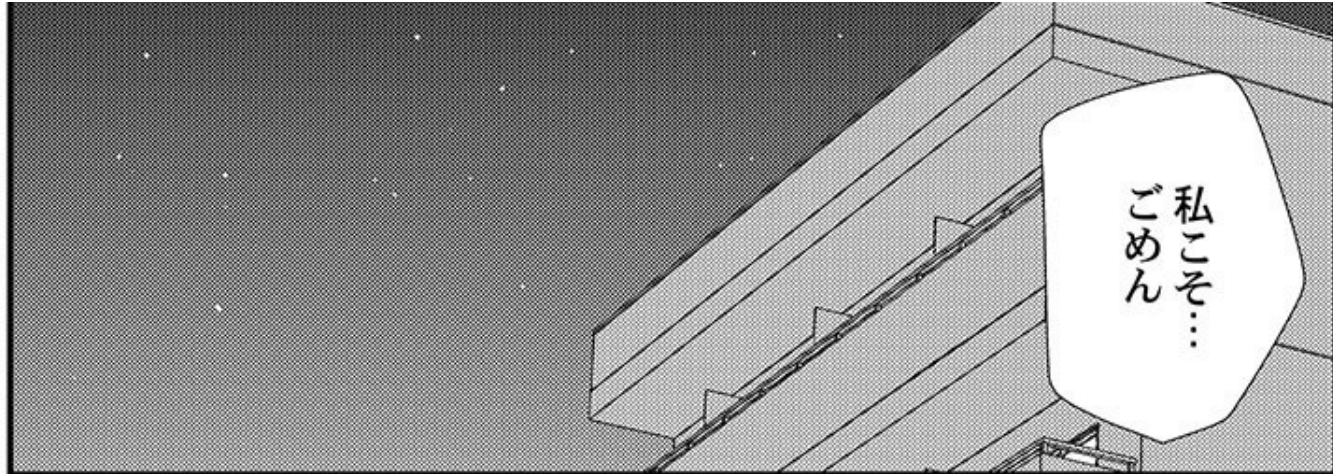
何もなかつた
んです

少し頭を
冷やし
たいんで

時間を
ください…

すみません
でした

浦川くん…



清史郎さん…

『いつから私を愛してなかったの？』

『もしかして最初から？』

『もしかして最初から？』

離婚届
もう出したの？

ああ
もう

こんなこと聞いてどうす…

『もしまだなら』

『一緒に出しに行かないか』

もしかして最初から？

もしまだなら一緒に出しに行かないか

既読

makoto

seishiro

…え…

『はい』

はい

…これだから最後だから

もしかして最初から？

まだなら一緒に出しに行かないか

既読

makoto

makoto

最後に
するから…

こんどちは

夕美子さん？

ごめんなさい

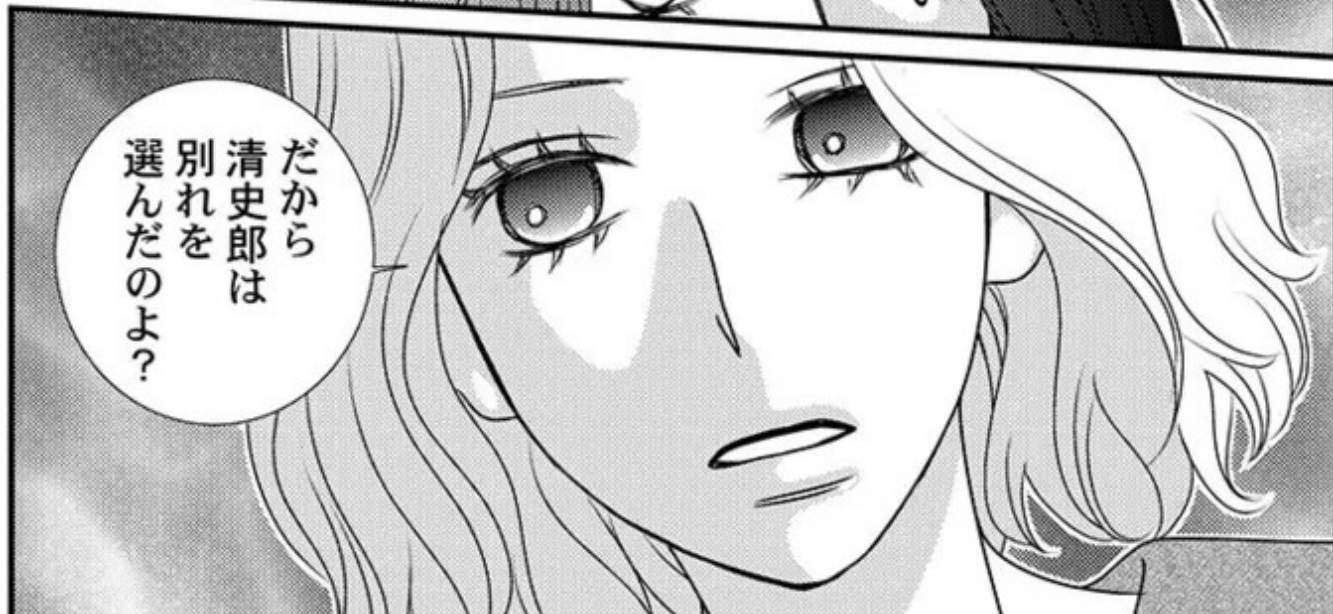
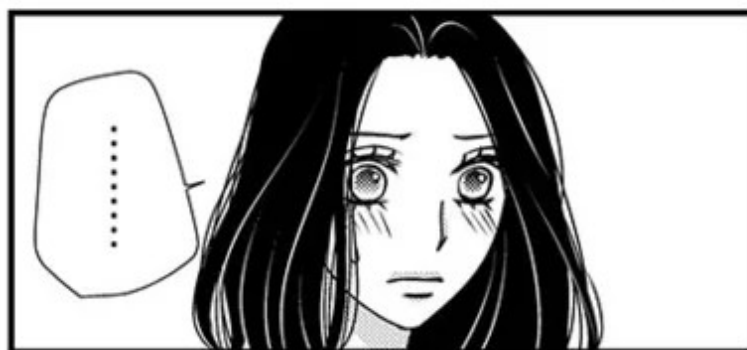
離婚届
持ってきて
くださった？

今日
あなたを
呼んだのは
私

清史郎の
ふりしてね

え…？

あの





あなたは
どうするの…？



確かに
そうなのかも
しれない

私たち

やっぱり
別れた
ほうが…



さあ
早く
離婚届を
私に…



待って
くれ！



…いや



どろどろ…

私に任せれば
よかったのに…



清史郎さん!?



これは…
俺と真琴
ふたりだけ
の話だから



…あなたが
羨ましいわ

そんな風に
誰かを
求められて…



…清史郎くん
よく
考えてね

何が一番
大事なのか





…あなたが
何を考えて
いるのか
わからないまま
別れるほうが
こわいわ…!!



怖くないの？

また
傷つけるかも
しれないよ？



君はいつも
俺の本心を
知りたがるね



案の定…
君を奪われそうに
なって

衝動を
抑えられ
なくなつて…



俺なりに
完璧を演じて
きたけど

ずっと
自信が
なかった

こんな歪んだ
性癖の俺が君を
幸せにできる
のかつて



…わかつたよ
全て話す





離婚届はもう出した？

いつから私を愛してなかったの？

『いつから私を愛してなかったの？』

『離婚届はもう出した？』

離婚届はもう出した？



確認だけだから！

確認だけだ



だけど…

来てしまった



：私がかわってあげるわ

あなたはもう二度と会ってはいけない

彼女を傷つけたくなければ…



清史郎くん？



：離婚届を出したか聞いただけだよ



もしかして真琴さんに…？



俺を…
狂わせたもの
の正体が…
君に出会って
わかったんだ



…狂ってる
よな



真琴に…
会いたくて…



だから
俺は…
これ以上
本当の気持ち
を無視できない



どんなに
傷ついても
本当の俺を
探してくれた



自分を
無視し続けた
せいで
本当に
欲しいものが
わからなくな
ってたんだ
俺の異常な
性癖もきつと…

真琴は…

君が
欲しい
愛して
いるんだ

これが…
俺の本心だ

許され
ないのは
わかってる

だからどうか
拒絶して
くれないか

こんな…
一方的な
欲望を…

君から何も
奪えないと
わかれば
君から
離れられると
思うんだ

そうすれば
もう傷つけ
なくてすむ…

すまない…



ずっと求めて
ほしかったの
あなたに



愛してる
から…





：君を
抱きたい

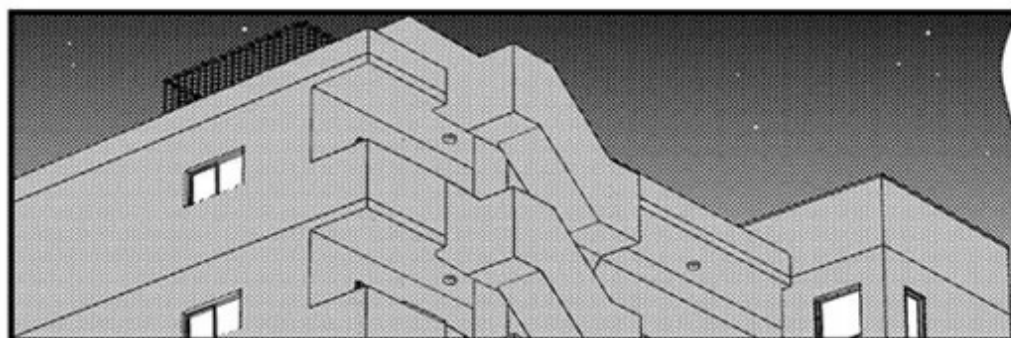


真琴…
君が
欲しいんだ



誰かに
奪わせるんじや
ない

俺が
奪いたい
君の
全てを…



愛して
いるから
全て
奪いたい



たとえ
無理だと
わかっていても
願わずに
いられない



せ…
清史郎さん

それほかに

あなたを
愛している…

…俺も

真琴が
欲しい

私…
もう



…あつ

あああああつ…!!



あんなに
疎ましかった

快感が
身体を
つらぬくたびに



真琴…
愛してる




悦びになる

女が
男を



愛する
あなたが

私を
求めて
くれるから



愛してる...

僕の妻を抱いてください
～寝取らせ夫の
歪んだ愛情
《合本版》

著者 ひなたみわ
発行 COMIC維新

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

甘くて苦い、眩暈に踊れ。



セロリカ

